

令和6年度行政評価



令和7年6月

四万十町

1 行政評価とは

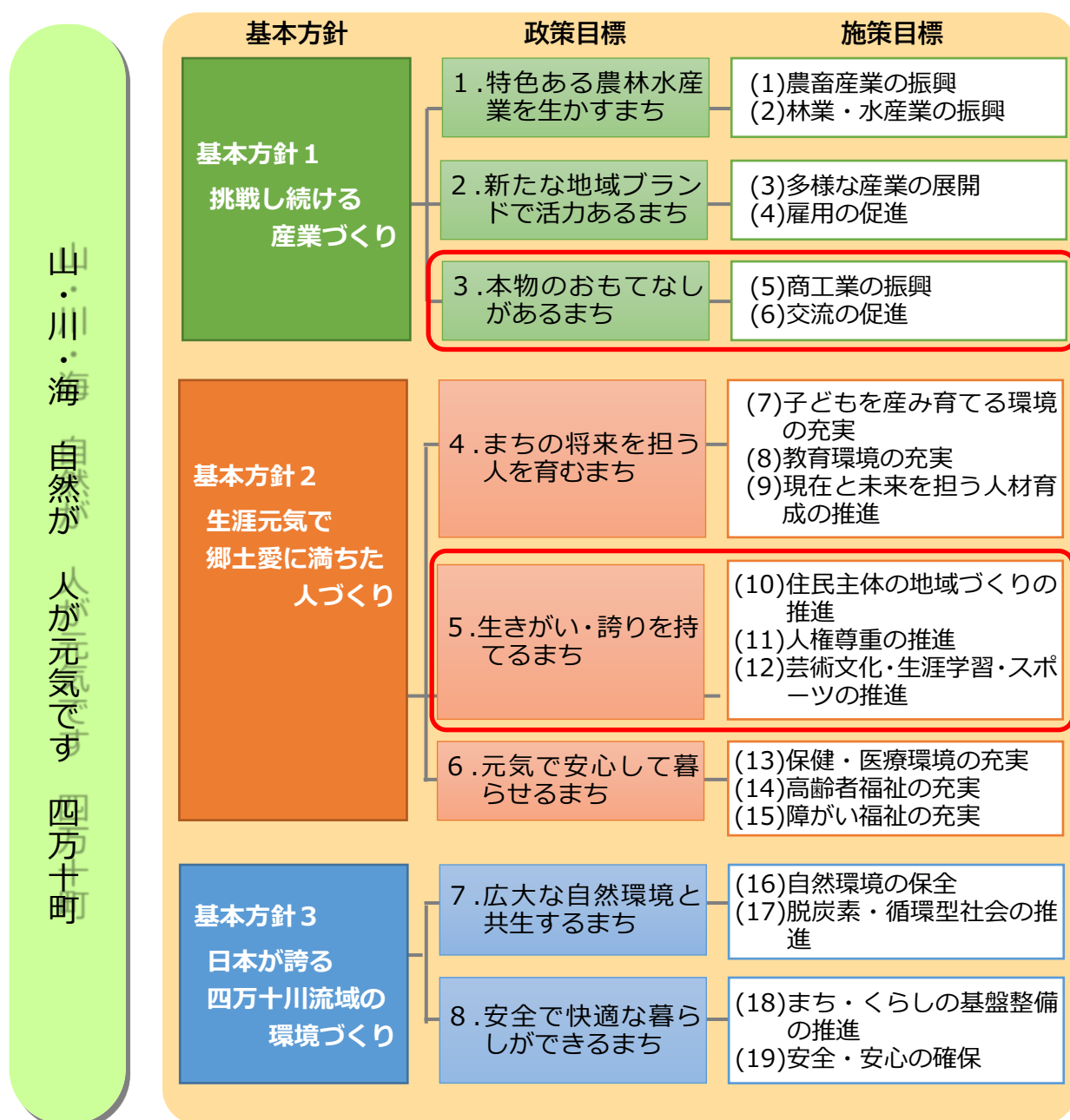
行政が実施している政策、施策、事務事業について、成果指標等を用いて分析、評価することにより、人材や予算といった経営資源が有効に活用されるよう、定期的な検証を行う仕組みです。

2 行政評価の目的

- (1)協働によるまちづくりの推進（町民との情報共有の推進、町政への町民参画の推進）
- (2)効率的で効果的な町政運営の確立（総合振興計画の推進、職員の意識改革と能力の向上）

3 評価項目

令和6年度については、施策目標(5)・(6)・(10)・(11)・(12)の施策を推進するために実施する67の事務事業について、令和5年度の実績に基づき評価を実施しました。



4 事務事業評価(事後評価)

令和5年度実績に基づき、以下のとおり事務事業評価を行いました。

施策 目標	事業 番号	事業名	担当課	評価	今後の方向性
商 工 業 の 振 興	1	四万十町商工会運営事業	販い	A	現状のまま継続
	2	商工業振興助成事業	販い	A	現状のまま継続
	3	中心市街地活性化事業(窪川)	販い	B	改善して継続
	4	起業・創業支援事業	販い	A	現状のまま継続
	5	十和地域市街地振興事業	十和地	A	現状のまま継続
	6	事業承継支援事業	販い	B	改善して継続
交 流 の 促 進	7	中間管理住宅整備事業	販い	A	現状のまま継続
	8	移住促進事業	販い	A	現状のまま継続
	9	友好都市交流事業	企画	A	現状のまま継続
	10	地域おこし協力隊推進事業	販い	A	現状のまま継続
	11	滞在型市民農園管理運営事業	販い	A	現状のまま継続
	12	協働の森づくり事業	農林	A	現状のまま継続
	13	各種イベント助成事業	販い	A	現状のまま継続
	14	四万十町観光協会運営育成事業	販い	B	改善して継続
	15	ホビー館推進事業	販い	A	現状のまま継続
	16	スポーツツーリズム推進事業	販い	C	休廃止
	17	四万十町総合交流拠点施設改修事業	十和地	A	現状のまま継続
	18	四万十川桜マラソン開催支援事業	生涯	C	休廃止
	19	空き家活用促進事業	建設	A	現状のまま継続
	20	インバウンド観光推進事業	販い	C	休廃止
	21	道の駅「四万十大正」再整備事業	大正地	B	改善して継続
	22	観光交流拠点施設整備事業	販い	B	改善して継続
	23	観光商品造成事業	販い	D	完了

交 流 の 促 進	24	地域資源映像活用事業	企画	B	改善して継続
	25	周遊促進事業	賑い	B	改善して継続
	26	四万十川アトビアンチャープークプロジェクト事業	十和地	D	完了
	27	十和観光施設整備事業	十和地	A	現状のまま継続
	28	コワーキングスペース管理運営事業	賑い	A	現状のまま継続
	29	自然体験観光施設整備事業	賑い	C	休廃止
	30	二次交通促進事業	賑い	D	完了
	31	ワーケーション促進事業	賑い	D	完了
	32	松葉川温泉改修事業	賑い	B	改善して継続
	33	観光列車活用事業	賑い	C	休廃止
	34	異文化交流促進事業	企画	C	休廃止
	35	四万十川 PR 事業	企画	B	改善して継続
住 民 主 体 の 地 域 づ く り の 推 進	36	住民自治事業	企画	A	現状のまま継続
	37	集落活動センター支援事業	企画	A	現状のまま継続
	38	地区集会施設整備支援事業	企画	A	現状のまま継続
	39	地区活動支援事業	企画	B	改善して継続
	40	集落支援員制度	企画	B	改善して継続
	41	大正北部地域づくり推進事業	大正地	A	現状のまま継続
	42	戦没者遺族等支援事業	健福	A	現状のまま継続
	43	大正地域まちづくり推進協議会	大正地	A	現状のまま継続
	44	十和地域まちづくり推進協議会	十和地	A	現状のまま継続
	45	基幹集落センター整備事業	企画	A	現状のまま継続
	46	影野駅周辺整備事業	企画	D	完了
人 権 尊 重 の 推 進	47	人権教育推進支援事業	生涯	A	現状のまま継続
	48	人権尊重のまちづくり事業	町民	A	現状のまま継続
	49	重層的支援体制整備事業	健福	A	現状のまま継続

芸術文化・生涯学習・スポーツの推進	50	図書館管理運営事業	生涯	B	改善して継続
	51	美術館管理運営事業	生涯	B	改善して継続
	52	国際交流促進事業	生涯	A	現状のまま継続
	53	窪川四万十会館改修事業	生涯	A	現状のまま継続
	54	重要文化的景観管理・保存・活用事業	生涯	B	改善して継続
	55	文化財保存・管理及び文化振興事業	生涯	A	現状のまま継続
	56	窪川 B&G 海洋センター管理運営事業	生涯	A	現状のまま継続
	57	社会体育推進事業	生涯	A	現状のまま継続
	58	シルバー大学事業	生涯	A	現状のまま継続
	59	青少年わんぱく学校事業	生涯	A	現状のまま継続
	60	総合型地域スポーツクラブ支援事業	生涯	A	現状のまま継続
	61	各種文化講座等開催事業	生涯	B	改善して継続
	62	文教施設整備改修事業(きらら大正改修)	大正地	A	現状のまま継続
	63	文化的施設整備事業	生涯	C	休廃止
	64	文化的施設管理運営事業	生涯	C	休廃止
	65	社会体育施設 LED 化事業	生涯	A	現状のまま継続
	66	窪川運動場再整備事業	生涯	A	現状のまま継続
	67	図書館十和分館整備事業	十和地	A	現状のまま継続

5 事務事業評価の集計

施策目標	実施事業数	評価結果集計
(5)商工業の振興	6 事業	A・・4 事業 B・・2 事業
(6)交流の促進	29 事業	A・・12 事業 B・・7 事業 C・・6 事業 D・・4 事業
(10)住民主体の地域づくりの推進	11 事業	A・・8 事業 B・・2 事業 D・・1 事業
(11)人権尊重の推進	3 事業	A・・3 事業
(12)芸術文化・生涯学習・スポーツの推進	18 事業	A・・12 事業 B・・4 事業 C・・2 事業

R6 行政評価シート

施策目標(5)

商工業の振興

事業番号 1～6

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	四万十町商工会運営事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	地場産業推進係

1 事業概要				
総合振興計画における 位 置 づ け	基本方針		挑戦し続ける産業づくり	
	政策目標		本物のおもてなしがあるまち	
	施策目標		商業の振興	
事業目的		地域商店街の商工業者に対する経営支援サービスの促進強化、重点目標を定めた地域商店街の活発化や起業・創業支援に取り組むことにより、地域産業の活性化を図る。		
事業内容		商工会の運営・事業活動の再建築の他、地域の振興を活性化するための地域総合振興事業、経営指導員の巡回指導等により小規模事業者等の改善及び発展を支援する経営改善普及事業を行う。		
実施年度		H18	～	
事業主体		町		
対象者		四万十町商工会		

2 実施結果								
事業費等内訳		事業費						
		(単位：千円)						
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源	
【計画額】		4,625			4,600		25	
【実績額】		10,526			7,600		2,926	
令和5年度の具体的な実施内容		①経営改善普及事業（人件費、旅費、事務費、事業費等） ②地域総合振興事業 （商店街への集客及び起業・商工業者支援を目的として実施する事業に要する経費） （認定創業支援等事業計画に基づき配置する創業支援員人件費） 上記、事業のもと以下の内容に取り組む。 ・事業者の補助金申請等の事務支援 ・創業に関する相談対応及び各種補助金申請支援 ・販路拡大に関する研修会の開催 ・事業承継に係る施策の検討材料の収集 ・マイナンバーカード普及推進に伴う事務						
成果	【 KPI 】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		年間育成指導数	R2	1,895	R8	2,100	R5	2,798
		商工会組織率（％）	R2	53	R8	55	R5	53
	成果	説 明	コロナ禍が明け、本町の経済活動も活発になり始めた。起業・創業に関する相談はもちろん、既存の事業者も新しい取り組み等を始めた。 年間育成指導数は目標値も超える件数となっていることから、経済活動が活発になってきたことが見て取れる。 商工会組織率は当初値と変わっていないが、ここ数年は高齢を理由に廃業される方が多かった。その中で、起業された方やこれまで加入されていなかった方を取り込み現状維持となっている。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	商工業振興助成事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	地場産業推進係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	商業の振興		
事業目的	町内の商工業の育成・振興を図るために、商工業振興条例に基づく助成金事業を実施する。			
事業内容	商工業振興助成事業により中小企業者、商工会等の支援の実施。起業・創業については、民間の創業支援事業者（地域金融機関、商工会等）と連携し、ワンストップ相談窓口の設置等を行う。			
実施年度	H20	～		
事業主体	町			
対象者	商工会			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
	【計画額】	12,000			12,000		0
	【実績額】	10,304			10,300		4
令和5年度の具体的な実施内容		・起業、創業に関する支援及び既存事業者の経営発展事業の支援等 事業別の件数及び実績額は以下の通り。 空き店舗活用事業（地代・家賃補助）…9件 金額 1,197,000円（飲食5件、小売1件、生活サービス2件、宿泊1件） ※内、3件が起業家で2件は他事業も活用。 空き店舗活用事業（改修）…2件 金額 3,650,000円（飲食1件、生活サービス1件） ※内、1件が地代・家賃補助も活用。 起業・創業事業…2件 金額 2,000,000円（飲食2件） ※内、1件はビジネスプランコンテスト大賞受賞者。もう1件は地代・家賃補助も活用。 宣伝販路拡大事業…6件 金額 2,555,000円（製造3件、サービス2件、不動産1件） 重点分野拡大事業…1件 金額 902,000円（小売1件）					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容		当初値		目標値	
				年度	数値	年度	数値
		創業希望者等		R2	6	R9	6
		創業者数		R2	5	R9	5
		販路拡大者数		R2	0	R9	7
	説明	コロナ禍が明け、事業者の活動が活発となった。 本事業を活用し起業・創業された方は5件で飲食店や美容室など様々な業種での起業があった。 既存事業者の経営発展事業の支援は7件でこちらも様々な業種の支援を行った。特に観光業関係の事業者の動きが活発となっていた。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続		休廃止の時期
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	中心市街地活性化事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	地場産業推進係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	商業の振興		
事業目的	町民や来訪者が職や文化など地元の個性を感じることができるまちづくりを目指すとともに、回遊性、利便性が高く、そして満足感が感じられるまちづくりを促進するため、窪川地域の中心商店街を中心とした中心市街地活性化計画を策定し、官民協働の事業化によるまちづくりを行う。			
事業内容	窪川地域中心市街地活性化計画に基づき地域の特性に応じた個別事業を支援することによって、中心商店街を中心としたまちづくりを推進する。			
実施年度	H28	～	R8	
事業主体	町、商工会、町民等			
対象者				

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	10,000	5,000		5,000		0		
	【実績額】	7,544	3,772		3,700		72		
令和5年度の具体的な実施内容		①地域商業の活性化に資する事業として、以下の活動を行う。 ・まち遊び事業（しまんとマルシェ等、本町商店街など会場としたイベント等の開催） ・古書街道及びにぎわい拠点事業（本町商店街の空き店舗などでの古書の販売等） ・じゆうなアトリエ事業（ダンス教室等の開催） ・体験型観光事業（四万十町に観光客を誘致するため、観光商品の開発等） ・案内マップ事業（過去に作成した案内マップの改修及び修繕等） ②チャレンジショップ事業。空き店舗を活用し、起業を考えている方がお試しで事業を行えるよう店舗の準備やチャレンジャーの支援を行った。							
成果	【 KPI 】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		市街地再生計画の作成	R2	0	R5	1	R5	1	
		市街地再生エリアリノベーション計画の作成・実行	R2	0	R3	1	R5	1	
	中心市街地活性化計画エリア内における企業数	R4	0	R7	2	R5	2		
	説明	地域商業の活性化に資する事業としては、本町商店街付近にて様々なイベント等を開催した。また、窪川駅周辺で営業されている飲食店等を掲載した案内MAPを作成するなどした。 チャレンジショップ事業においては、毎年本町商店街に準備している店舗に様々な事業者が入っている。期間終了後にはご自身で新たに営業を始める方も多い。							

3 評価結果

評価結果	B 改善して継続	休廃止の時期	—
事業の課題	高知県商店街等推進事業費補助金が令和7年度末をもって休止となり、それに伴い四万十町商店街等推進事業費補助金も同時期に休止の予定。		
改善の内容	令和7年度に一部予算を減額して事業を継続。 令和8年度以降の本事業の方向性については、次年度協議を行う。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	起業・創業支援事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	地場産業推進係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	商業の振興		
事業目的	平成２７年度に策定した「四万十町創業事業計画」に基づき、起業・創業の推進と特定創業者の育成を図る。			
事業内容	町商工会運営費補助金により、起業・創業支援員を配置し、商工業振興助成金等も活用し、起業・創業の更なる創業を行う。			
実施年度	H28	～		
事業主体	町及び四万十町商工会			
対象者	起業・創業を検討している者			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源	
	【計画額】	0						0
	【実績額】	0						0
令和5年度の具体的な実施内容		四万十町創業事業計画に基づき起業・創業支援員を四万十町商工会に配置。起業・創業を考えられている方の相談対応やアドバイス等を行った。						
成果	【KPI】重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		起業・創業相談支援件数	R2	3	R9	15	R5	10
	説明	起業、創業に関する相談には内容の聞き取りを行うなどし、商工会と連携し起業に向けたアドバイス等を行っていった。						

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	十和地域市街地振興事業				
担当課	十和地域振興課	担当係	企画産業係		

1 事業概要					
総合振興計画における位置づけ	基本方針		挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標		本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標		商業の振興		
事業目的		十川地域の中心商店街の活性化、併せて、昭和・十川地区の遊休施設（旧昭和中学校、旧小鳩保育所、昭和・十川駅舎、旧泉衣料十和工場等）の利活用も検討を行い、十和地域の市街地活性化策を一体的に協議する。			
事業内容		旧昭和中学校の活用及び施設改修、あわせて昭和・十川地区の遊休施設等の活用について検討を行う。			
実施年度	H29	～			
事業主体	J A、商工会、町				
対象者	昭和・十川地域の商店街関係者及び消費者				

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	1,000		1,000					
	【実績額】								
令和5年度の具体的な実施内容		十和地域の市街地活性化については、まちづくり推進協議会で協議がされ、R3年度に町長への意見書という形で具体的な提案がなされた。この提案をもとに行われているものをあげると（以前から取り組んでおりブラッシュアップしたものも含む）、一つには旧昭和中学校を活用した、地元NPO法人を主体に旧校舎を使いイベント（昭和市場、きもだめし）の実施がある。 また、旧小嶋保育所では、地元ボランティア団体に引き続き貸付を行うことで、公園および図書貸出（図書館の団体貸出を利用した「サテライト貸出」）を目的とした施設の活用が始まった。 更に、「十和にぎわいまちづくり支援」として、十川・昭和エリアの空き店舗や遊休公共施設の活用の取組等のミッションを計画し、新たに地域おこし協力隊の募集に向けた協議を行った。							
成果	【 KPI 】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		十和地域商店街の拠点	R2		R8	2	R5	1	
成果	説明	遊休公共施設活用として、まちづくり推進協議会からも旧小嶋保育所の利用の意見が出され、R4年度から貸付が始まっている。R5年度は、開館日数111日（前年度104日）、（延べ）来場者数1,260人（1,468人）が、公園や本貸出などで利用がされた。年間を通して公園や施設を開放していることで、保育所の遠足先になったり、小・中学生や周辺地域の方の集いの場としても機能している。 また、商店街の安全性向上等のため、R4年度には街路灯改修整備なども行ってきた経過がある。 しかし、実際は商店の閉鎖も増えるなか、現在は点での取り組みに留まっていることから、市街地活性化の支援の動きの一つとして新たに地域おこし協力隊を導入したが、今後は、これを一体的に取り組みへと展開していく必要がある。							

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	事業承継支援事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	地場産業推進係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	商業の振興		
事業目的	後継者の不在等による事業等の技術およびサービス並びに雇用の喪失を防ぐため、次の担い手へ承継し事業の継続を図る。			
事業内容	事業継承に関する相談窓口の設置及び講座の開催や、マッチング支援を行い高知県事業継承・引継ぎ支援センターへ繋ぐ。			
実施年度	R5	～	R7	
事業主体	町、商工会			
対象者	事業者（承継者、被承継者）			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源	
	【計画額】	0						0
	【実績額】	0						0
令和5年度の具体的な実施内容		・承継希望者及び被承継者からの相談への対応						
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		後継者人材バンク登録者数	R5	0	R9	4	R5	0
		県センター引き継ぎ件数	R5	0	R9	4	R5	0
		事業承継事業所数	R5	0	R9	2	R5	0
	説明	令和5年度は第3者からの承継希望の相談があり、被承継者となりうる方の現状を聞き取りを行うなどの対応をとった。 本町においては、個人事業者の方は店舗兼住宅という形で営業をされている方が多く、そのような場合は第3者の事業承継に関しては難色を示す方が多い。相談があった業種に関しても店舗兼住宅にて営業をなされており、事業承継とはならなかった。						

3 評価結果

評価結果	B 改善して継続	休廃止の時期	
事業の課題	・第3者との事業承継 ・店舗兼住宅にて経営されている事業者の事業承継		
改善の内容	商工会と連携し事業承継について検討している事業者へ説明や希望等の聞き取りを行う。希望者が出た際には、関係機関と協力し被承継者と繋げていく。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6 行政評価シート

施策目標(6)

交流の促進

事業番号 7～35

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	中間管理住宅整備事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	移住定住

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	町内の若者世帯や移住希望者に住宅を提供することにより、本町への定住を促進する。			
事業内容	中間管理住宅として町が空き家を借上げ、移住定住希望者に賃貸する。			
実施年度	H26	～		
事業主体	町			
対象者	町への移住定住希望者			

2 実施結果							
事業費等内訳	事業費	(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
	【計画額】	150,000	75,000	34,965	30,000		10,035
	【実績額】	103,591	46,063	14,155	24,400		18,973
令和5年度の具体的な実施内容		中間管理住宅として新たに6棟（大正、七里、秋丸、下岡、小野2棟）を整備した。中でも、小野の2棟については、㈱良品計画と締結した包括連携協定に基づき同一敷地内に建つ「母屋」を住宅、「離れ」を宿泊施設として一体的に改修整備を行った。このことから、今後は中間管理住宅を【単身型】【子育て世帯型】【宿泊施設運営型】と3つに分類し、整理していくこととした。					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度 数値
		中間管理住宅整備件数	R2	3	R9	10	R5 5
	説明						
		整備した6棟の内、7月1日現在、6棟すべての物件に入居者いただいている状況。入居者12名中、9名が移住者（男性4名・女性3名・子供2名）となっている。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	—
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	移住促進事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	移住定住係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	少子高齢化対策として移住定住施策を促進することにより、地域の活性化を図る。			
事業内容	移住PRと相談、移住者のサポート、お試し滞在施設の運営、空き家等情報の収集・提供、県外移住相談会への参加、移住体験ツアーを実施するとともに、県外へ転出した出身者をフォローできる体制を構築することで、首都圏での関係人口とUターン者の増加に繋げる。			
実施年度	H22	～		
事業主体	町			
対象者	都市住民等			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
【計画額】		25,728		6,900		10,771	1,457	6,600	
【実績額】		26,711		5,348		6,600	16,149	△ 1,386	
令和5年度の具体的な実施内容		移住プロモーションとして、四万十町ファンミーティングを開催し、四万十町ファンや関係人口の創出をはかった。移住者のサポートとして、移住者交流会を実施し、悩み相談や不安事の解消をはかった。また、年間を通して、移住相談会等へ参加し、移住希望者の取り込みを絶えず行ってきた。							
成果	【 KPI 】 重要業績 評価指標	KPIの内容		当初値		目標値		現状値	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値
		移住者数	R2	17	R9	100	R5	136	
説明	R5年実績として、移住者数188名136組は、県内でも高知市に次いで2番目に多い自治体となっている。								

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	—
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	友好都市交流事業		
担当課	企画課	担当係	地域振興係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針		挑戦し続ける産業づくり	
	政策目標		本物のおもてなしがあるまち	
	施策目標		交流の促進	
事業目的		石の風ぐるまのゆかりによる友好都市の盟約に基づき、お互いの歴史文化を尊重し、恒久的な友好関係を促進するため、交流を通じて相互の友好と親善を深める。（熊本県山鹿市、岡山県高梁市）		
事業内容		地域特産品のPRと販路拡大、地域文化の紹介等による人的交流、災害時等における相互協力体制の確立を行う。令和5年に3市町による首長会を開催。今後においても継続した交流事業の実施を確認した。		
実施年度	H21	～		
事業主体	町			
対象者	町民			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費	(単位：千円)				
			国	県	地方債	基金	その他
		【計画額】	200				
		【実績額】					
令和5年度の具体的な実施内容		石の風車友好都市交流首長会を四万十町で開催。今後の交流事業の方向性や令和6年度の交流事業の開催について協議を進めた。					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度
		友好都市の交流会	R5	1	R8	2	R5
	説明	令和6年度に高梁市及び山鹿市、令和7年度に四万十町が合併20周年を迎えることとなり、交流会を開催する。また、子ども関係の交流事業として、令和7年度に四万十町で開催予定の川ガキ事業に両市の子どもが参加することを検討するなど、今後の交流について協議を進めることができた。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	地域おこし協力隊推進事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	移住定住係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針		挑戦し続ける産業づくり	
	政策目標		本物のおもてなしがあるまち	
	施策目標		交流の促進	
事業目的		『地域おこし協力隊』制度を活用し、都市部等から地域外の人材を積極的に誘致することにより、地域の活性化を図るとともに、その定住、定着を促進する。		
事業内容		コミュニティの維持、住民の生活支援、地域資源の発掘及びその活用による地域振興、地域間交流及び移住促進、地産地消・外商に関する活動等を実施する隊員を、都市部等から嘱託職員として採用し、任務を行いながら雇用期間中に定住に向けた取組を行う。		
実施年度		H24	～	
事業主体		町		
対象者		3大都市圏をはじめとする都市地域等から住民票を異動させることが可能な者		

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		99,970					99,970
【実績額】		67,593					67,593
令和5年度の具体的な実施内容		R5年度は窪川12名、大正3名、十和7名の合計22名の隊員が地域内で活動していた。R5年度採用のミッション内容としては、移住定住支援業務・山間地の地域営農支援・産業づくり支援・四万十町ネット販売事務等、それぞれの地域の実情に沿った協力隊募集と人員配置を行っている。また、新しい取り組みとして、より任期後の定住を視野に入れた活動ができるよう民間企業委託型の隊員募集もR6年度から始められるように準備してきた。受け入れ事業者について公募をかけ、選考の結果、2社（サンビレッジ四万十・しまんと新一次産業）を受け入れ母体として決定した。					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容		当初値		目標値	
				年度	数値	年度	数値
		隊員の定住者数		R2	4	R9	29
	説明			R5			46
		これまでに退任した62名のうち31名が定住しており、R5年度末で活動している協力隊15名と合わせて46名が定住している。また、隊員の家族42名も含めると88名の人口増加へと繋がっている。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続		休廃止の時期
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	滞在型市民農園管理運営事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	移住定住係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針		挑戦し続ける産業づくり	
	政策目標		本物のおもてなしがあるまち	
	施策目標		交流の促進	
事業目的	都市住民や町民に「農」を体験する場を提供することにより、農業に対する理解と関心を深めてもらうとともに、中・長期的な滞在で地域との継続的な交流を通じて、移住や新規就農への移行促進を図る。			
事業内容	利用者確保のための効果的な広報や町内案内ツアーの実施等、効果的かつ効率的な運用と、設備の維持管理を行う。			
実施年度	H21	～		
事業主体	町（指定管理者）			
対象者	都市住民等			

2 実施結果

事業費等内訳		(単位：千円)						
		事業費	国	県	地方債	基金	その他	一般財源
	【計画額】	1,380				1,380		
	【実績額】	1,380				1,380		
令和5年度の具体的な実施内容		都市部との交流人口の拡大・田舎暮らしの体験を提供することを目的とした施設で、指定管理者へ利用状況や管理・運営に係る業務等を委託している。						
成果	【 KPI 】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		滞在型区画利用者	R2	22	R9	22	R5	22
		日帰り型区画	R2	15	R9	15	R5	9
	説明							
		移住相談に来られた方へのご紹介や四万十町公式HP及びFacebook等の効果により、令和5年度は滞在型区画22棟全てが入居となり、日帰り型区画においては16区画中9区画の利用があった。						

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	協働の森づくり事業		
担当課	農林水産課	担当係	林業振興室

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	本事業協賛企業との連携により、協定森林の整備促進と間伐など体験学習活動を通じて、交流人口の増大を図る。			
事業内容	パートナーズ協定を締結した協賛企業からの協賛金により、森林整備の促進と地域交流活動、CO2吸収源対策などに取り組む。			
実施年度	H18	～		
事業主体	町			
対象者	協定企業			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	1,000					1,000		
	【実績額】	1,000					1,000		
令和5年度の具体的な実施内容		・CO2吸収現地調査 調査委託 窪川林産企業組合、調査地 上岡シデノ木山 ・「四万十 よんでんの森」パートナーズ協定の締結 協定 四国電力株式会社、協定期間 R5.10.1～R8.9.30 ・協定森林の瀬里轟山にて雑木伐採・植樹体験を開催 開催日11月16日 北ノ川小学校児童11名、公益財団法人オイスカ7名参加							
成果	【 KPI 】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		交流人口	R2	50	R8	100	R5	50	
	説明								
		小学校児童が雑木伐採や植樹を体験することで、森林の役割、重要性等を理解してもらい、森林環境の保全、森林を守り育てる意識の醸成に繋がった。また、国道381号線から見える瀬里轟山にモミジ・イチヨウを植樹することで、森林の再生、景観の保全にも繋がった。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	—
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	各種イベント助成事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	交流促進係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	地域資源を活用したイベントの開催を支援することにより、産業や文化の振興、町民相互の交流を促進し、魅力ある地域づくりに努める。			
事業内容	町の3大イベントの他、地域で必要とされる規模の大きいイベント開催のため、実行委員会に対する助成等を行う。【補助金交付イベント：米こめフェスタ・大正あゆまつり・よってこい四万十・窪川まつり花火大会、四万十川まつり、台地まつり、鯉のぼり川渡し】			
実施年度	H18	～		
事業主体	町			
対象者	各イベント実行委員会			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	19,814				19,814			
	【実績額】	18,269				18,269			
令和5年度の具体的な実施内容		各イベントへの補助金額							
		窪川まつり 387,292円		四万十川まつり 589,450円					
		金太郎夜市 348,000円		こいのぼり川渡し事業費補助金 4,951,480円					
		台地まつり 1,030,000円							
		米こめフェスタ 7,389,500円							
		大正あゆまつり 2,374,142円							
		よってこい四万十 1,199,662円							
成果	【 KPI 】 重要業績 評価指標	KPIの内容		当初値		目標値		現状値	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値
		観光客数（助成イベント）		R2	2,629	R8	32,500	R5	18,300
	説明	イベントを開催することにより、四万十町への入込客数の増加、経済効果にもつながった。							
		各イベント入れ込み客数							
		窪川まつり 2,000人		四万十川まつり 500人					
金太郎夜市 1,400人		こいのぼり川渡し 1,500人							
台地まつり 2,200人									
米こめフェスタ 8,000人									
大正あゆまつり 1,600人									
よってこい四万十 2,500人									

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	—
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	四万十町観光協会運営育成事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	交流促進係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	四万十町の魅力を発信し、交流人口の拡大を図りながら町内の組織や団体と連携した集客活動を行うことにより、地域経済の活性化を図る。			
事業内容	町外に対しては、観光情報の魅力を広く発信し、誘客に努める。町内に対しては、観光関連事業所との連携により観光資源の磨き上げを行い、活動をサポートし送客に努める。			
実施年度	H18	～		
事業主体	一般社団法人四万十町観光協会			
対象者	町民及び町外者			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		20,459			20,459		
【実績額】		21,821			21,821		
令和5年度の具体的な実施内容		「情報発信業務」「着地型観光推進事業」「その他事業」を事業の柱に置き、それぞれ事業を実施。 「情報発信業務」においては、町外観光誘客を目的とした「発地型パンフレット」の電子版を構築。また、観光PR動画の撮影、Instagram等の情報発信を行った。 「着地型観光推進事業」においては、地域活性化企業人の協力を頂き、観光協会で商品販売できる着地型旅行商品を5つ以上造成。また、各関係団体への着地型旅行商品造成に向けたノウハウの共有と観光素材の磨き上げに取り組んだ。					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度 数値
		観光客数（施設・イベント合計）	R2	697,770	R8	1,000,000	R5 820,302
		会員数	R2	119	—		R5 118
	説明	情報発信事業を展開することで、四万十町ファンの獲得や観光客数の増加。 また、「旅程管理者」の資格を取得したことで、着地型商品の展開への準備及び新たな顧客開拓へとつながった。					

3 評価結果			
評価結果	B 改善して継続		休廃止の時期
	—		
事業の課題	財源がないことから自主事業においても全額を役場の補助金として充てこんでいるが、一般社団法人であり自主事業は会費収入、事業収入を含めた事業計画としていくべきであり構造改善が必要。現状、継続せざるを得ないが、位置づけから検討していく必要がある。		
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	ホビー館推進事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	交流促進係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	観光人口の拡大を図るとともに、新たな造形という分野での産業創出、まちづくりを行うことで、地域活性化を目指す。			
事業内容	海洋堂ホビー館四万十の指定管理のほか、企画展示の実施や体験教室、ステージを活用したイベント等についての実施及び広報について支援する。			
実施年度	R2	～		
事業主体	町			
対象者	観光客			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		9,125			9,125		
【実績額】		9,522			9,522		
令和5年度の具体的な実施内容		海洋堂ホビー館四万十は、フィギュアや模型を始めとした、あらゆるホビーをテーマとしたミュージアムとして、これまでの四万十町の自然体験型観光と融合させ、幅広い層の観光客の誘致を図る観光交流拠点でありホビー館に関する展示物等については、より専門的な知識と取り扱いに関する技術が必要であり、造形師として人材を保有している奇想天外へ、指定管理を委託した。また、ホビー館の企画展に合わせて周遊企画を展開することで、ホビー館への来場の誘導を図るとともに、関連施設への回遊を促進し、観光による消費を刺激することをねらいとし、海洋堂のフィギュアコンテンツを柱として、町内の観光につながる周遊企画を行った。					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度 数値
		ホビー館入込数	R2	20,700	R8	50,000	R5 20,156
		企画展等イベントの実施	R2	1	R8	3	
	説明	来場者数も年々減少傾向にあるが、コロナ過の影響も落ち着き始めたため、現状のまま継続していく。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続		休廃止の時期
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	スポーツツーリズム推進事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	交流促進係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針		挑戦し続ける産業づくり	
	政策目標		本物のおもてなしがあるまち	
	施策目標		交流の促進	
事業目的		近年の自転車人気の高まりに注目し、四万十川をはじめとする地域資源を活かした交流人口の拡大を図る。		
事業内容		流域市町村と連携し、自転車愛好家の呼び込みや、松葉川地区でトレイルランニングイベントを開催し、松葉川エリアや温泉の活用を図る。		
実施年度	H28	～		
事業主体	町			
対象者	町民、来訪者			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		2,419	934		1,484		1
【実績額】		1,542	770		772		
令和5年度の具体的な実施内容		7月9日(日)松葉川地区にて、「奥四万十トレイルレース2023in松葉川」を実施した。					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容		当初値		目標値	
				年度	数値	年度	数値
		観光客数（施設・イベント合計）		R2		R8	500
	説明						
		松葉川地区の原風景や食、人の魅力等を伝えられたこと。また、四万十町への入込客数の増加、経済効果にもつながった。					

3 評価結果			
評価結果	C 休廃止	休廃止の時期	令和6年度
事業の課題	傷病者への応急処置のできるスタッフをはじめとする多数のスタッフが確保できず、安全・安心な大会に向けての業務遂行が困難なため。		
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	四万十町総合交流拠点施設改修事業		
担当課	十和地域振興課	担当係	企画産業係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	四万十町総合交流拠点施設（道の駅四万十とおわ）の適正な施設管理により、利用者の利便性を高めるとともに誘客力の向上を図る。			
事業内容	老朽化した設備の入替え等を行い、施設の機能向上を行う。			
実施年度	H29	～		
事業主体	町			
対象者	町民、来訪者			

2 実施結果							
事業費等内訳	事業費	(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
	【計画額】	10,000			10,000		
	【実績額】	25,597		24,500			1,097
令和5年度の具体的な実施内容		四万十町総合交流拠点施設(道の駅四万十とおわ)の施設（物産館・厨房等）が経年劣化により、空調機器・厨房床面及び厨房機器等において、破損・故障が発生し、来客者へのサービス低下を招いている。その為、設備の改修及び備品の入替えを実施し、施設の機能向上を行い、誘客力及びサービスの向上を図った。 ○厨房等改修工事監理委託業務 385,000円、○改修工事（厨房塗床改修） 837,000円 ○改修工事（機械設備） 12,705,000円、○改修工事（電気設備） 2,475,000円 ○改修工事（厨房機器購入） 8,195,000円					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度 数値
		道の駅来場者数の増加	R3	91,860	R8	120,000	R5 109,585
		道の駅売上額	R3	102,363,402	R8	—	R5 134,630,928
	説明	集客については、施設改修に伴う休業期間（R6.1.9～R6.2.28）があったため、全体利用者は対前年比93.4%と減少となったが、売上額については客単価が108.6%増加しており、対前年比101.4%に繋がった。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	四万十川桜マラソン開催支援事業		
担当課	生涯学習課	担当係	社会体育係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	四万十川と沿線の桜及び景観、又住民ボランティアを活用したフルマラソン大会を開催することで、四万十町を全国に発信し、スポーツを通じた交流、流入人口の拡大と、町民融和を図ることで、地域活性化に寄与する。			
事業内容	窪川から十和まで（42.195km）のフルマラソン大会の実行委員会への人的、物的及び金銭的な支援を行う。			
実施年度	H21	～		
事業主体	町			
対象者	町民			

2 実施結果								
事業費等内訳		事業費	(単位：千円)					
			国	県	地方債	基金	その他	一般財源
		【計画額】	9,350				9,300	
		【実績額】	10,043				9,500	543
令和5年度の具体的な実施内容		参加者が減少傾向にあることから、例年より定員を少なく1,300名を募集し実施した。						
成果	【 KPI 】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		大会参加エントリー者の県外者割合	R2	37	R8	50	R5	49
	説明							
		追加募集をしたが、定員より少ない1,184名の応募となり、出走者は977名となっている。また、参加ボランティア430名中一般ボランティアは232名となっており、その半数近くを町役場職員が担っている。						

3 評価結果			
評価結果	C 休廃止	休廃止の時期	令和8年度
事業の課題	コロナ禍以降、ランナー、ボランティア共に減少傾向。		
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	空き家活用促進事業		
担当課	建設課	担当係	建築住宅係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	まちの将来を担う人を育むまち		
	施策目標	子どもを生み育てる環境の充実		
事業目的	町内にある空き家を活用するために、移住者受入や地域住民の居住支援など、地域の活性化に資する住宅として活用する。			
事業内容	空き家の耐震改修・断熱改修・トイレの水洗化等の住宅性能の向上に資するリフォームを実施する空き家の所有者に費用の一部を補助する。			
実施年度	H29	～	R8	
事業主体	町			
対象者	空き家の所有者			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	27,000	9,000	9,000		9,000			
	【実績額】	37,800	12,600	12,600		12,600			
令和5年度の具体的な実施内容		14件の申請に対し、補助を実施した。							
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容		当初値		目標値		現状値	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値
		改修物件数		R3	30	R8	80	R5	47
	説明	1年以上利用されることがなかった空き家が改修され移住定住の促進につながった。 14件中11件が昭和56年5月31日以前の建物であり、耐震事業と併用することで住宅の耐震化が図れた。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	インバウンド観光推進事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	交流促進係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針		挑戦し続ける産業づくり	
	政策目標		本物のおもてなしがあるまち	
	施策目標		交流の促進	
事業目的		急増する外国人観光客に対応するために、外国語対応可能な観光案内所等を設置し、圏域のインバウンド観光を推進する。また、観光施設におけるサイン等の多言語化を進め、受け入れ体制を強化する。		
事業内容		観光パンフレット、サイン等の多言語対応、大型客船高知寄港時の外国人観光客の四万十町への誘客を行う。		
実施年度	R2	～		
事業主体	町			
対象者	外国人観光客、観光施設			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】							
【実績額】							
令和5年度の具体的な実施内容		事業の実態が無く、予算化もしていない。					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容		当初値		目標値	
				年度	数値	年度	数値
		大型客船からの町内への誘客件数		R2		R8	200
		外国人観光客案内所の相談件数		R2		R8	100
	説明						

3 評価結果			
評価結果	C 休廃止	休廃止の時期	令和5年度
事業の課題	事業の実態が無い。		
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	道の駅「四万十大正」再整備事業		
担当課	大正地域振興課	担当係	企画産業係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針		挑戦し続ける産業づくり	
	政策目標		本物のおもてなしがあるまち	
	施策目標		交流の促進	
事業目的		来訪者の安全や快適性、利用満足度を高めるため、道路や観光等の最新情報の提供や豊かな地域資源を生かした農産物、加工品の販売を促進する。また、散策ルートや遊具、植栽を整備して憩いの場、遊べる場としての魅力を高めることで周辺への経済波及効果につなげる。		
事業内容		ミュージックトイレ撤去、既存東屋解体移築、物産販売施設の整備・改修。道の駅通路屋根の整備。公園内の遊具整備、既存遊具の撤去。公園が大正地域の花の拠点となるよう、ツツジ等植栽の再整備を進める。		
実施年度	R 2	～	R 9	
事業主体	町			
対象者	観光交流者・地域住民			

2 実施結果							
事業費等内訳	事業費	(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
	【計画額】	32,300		30,000			2,300
	【実績額】						
令和5年度の具体的な実施内容		令和5年度において、道の駅四万十大正であいの里改修工事实施設計業務を行う予定であったが、令和6年度に指定管理者選定の更新手続きがあり、指定管理者の運営体制が確定してから実施設計を行うべきと判断し、令和5年度の実施を見送った。					
成果	【KPI】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度 数値
		利用者数（物産販売施設） 人	R2	29,200	R9	38,000	R6 32,146
		利用者数（情報館） 人	R2	3,428	R9	10,000	R6 4,999
		売上高（であいの里） 千円	R2	30,845	R9	38,000	R6 37,860
	説明	実施設計を見送ったことにより成果なし。					

3 評価結果			
評価結果	B 改善して継続	休廃止の時期	—
事業の課題	当初の計画通り、必要性・有効性は確認できており、実施設計以降の実施時期を適正に見定め、効率性を高めて進めていく必要がある。		
改善の内容	令和7年度に実施設計、令和8年度に改修工事を行い、令和9年度に公園内の植栽整備等を図り、道の駅全体の再整備を進める。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	観光交流拠点施設整備事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	交流促進係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	高速道路の延伸による、観光客等の減少が懸念されるなか、道の駅あぐり窪川の後背地に観光交流拠点を整備することで、町内へ観光客等の誘導を図り、地域経済の活性化に寄与する。また、防災道の駅「あぐり窪川」と連携し、災害時の受入機能を強化することを検討する。			
事業内容	道の駅あぐり窪川の後背地に、多目的広場や駐車スペース等を整備、災害時には帰宅困難者等を受入できる機能を設けた観光交流拠点を整備する。			
実施年度	R2	～	R7	
事業主体	町			
対象者	観光客・町民			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	27,484						27,484	
	【実績額】	1,041						1,041	
令和5年度の具体的な実施内容		当初は計画予定地の測量と用地買収を計画していたが、基本計画及び設計を修正する必要ができたため、買収は延期し、測量と買収予定地の地権者への農地の休耕補償をおこなった。							
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		観光客数（施設・イベント合計）	R2	697,738	R9	1,000,000	R5	820,183	
	説明	計画地の正確な測量ができたことにより、用地買収や計画策定の際の下地づくりができた。							

3 評価結果

評価結果	B 改善して継続	休廃止の時期	
事業の課題	当初は花をメインテーマとしていたが、意見公募の結果を受け花とみどりのまちづくりの趣旨をのこしつつ、観光客や町民が憩いの場として利用できるスペースに修正していく。		
改善の内容	メインの花園の部分を縮小し、多目的広場部分の強化やそれに代わる噴水や遊具等を盛り込んでいく。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	観光商品造成事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	交流促進係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	地域独自の魅力や観光資源を活用し、観光商品を造成する。			
事業内容	地域活性化企業人制度を活用し、三大都市圏に所在する民間企業等の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を活かし観光商品を造成し、販売展開を図る。			
実施年度	R3	～	R5	
事業主体	町			
対象者	観光客			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費	(単位：千円)					
			国	県	地方債	基金	その他	一般財源
	【計画額】	6,600						6,600
	【実績額】	5,687						5,687
令和5年度の具体的な実施内容		1. 着地型旅行商品の造成 四万十町観光協会で商品販売できる着地型旅行商品を7つ造成 2. 着地型旅行商品の販路展開 地域活性化企業人としての人脈と強みを活かし旅行商品の販路拡大を図る。 3. 町内の観光産業に関わる事業所等への観光素材磨き上げに関するフォローアップ 各関係団体への着地型旅行商品造成に向けた甲のノウハウの共有と 観光素材の磨き上げに取り組む。						
成果	【 KPI 】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		着地型旅行商品の造成	R2		R5	5	R5	7
	説明	四万十町観光協会において、今回造成した着地型旅行商品を積極的に活用し、四万十町の地域活性の取り組みを繋ぎ、「地域の活性化」「地域経済への貢献」を創出していくための下地づくりができた。						

3 評価結果

評価結果	D 完了	休廃止の時期	—
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	地域資源映像活用事業		
担当課	企画課	担当係	広報情報係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	四万十川をはじめとする本町にとって貴重な地域資源を映像として残し、その映像を活用することにより、町内各地の観光スポット等への観光客の誘導や、四万十町ファンの拡大を目指す。			
事業内容	町内全域を対象とした地域資源映像活用プランに基づき、ホームページやSNSによるコンテンツの作成及び配信などを行う。			
実施年度	R1	～		
事業主体	町			
対象者	町民及び町外からの観光客等			

2 実施結果								
事業費等内訳		(単位：千円)						
		事業費	国	県	地方債	基金	その他	一般財源
		【計画額】	1,000			1,000		
		【実績額】	243					243
令和5年度の具体的な実施内容		映像撮影・テレビやウェブを使ったPR・専用ウェブサイトの管理運営を行った。 具体的には、令和元年～令和3年度に地域資源映像活用事業として制作した、映像専用サイトの保守管理となる。						
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		映像提供回数（テレビ等）	R2	3	R8	6	R5	5
	説明							
		町内の地域資源を特集した映像専用サイトを運営することで、町内外へ広く四万十町の豊かな地域資源を映像をとおしてPRすることができた。また、そのサイトの映像が、民放のテレビ番組の制作関係者等の目に止まることで、映像素材を「四万十町」のクレジットを入れて提供することが可能となり、全国的なシティブロモーションにも繋げることができた。						

3 評価結果			
評価結果	B 改善して継続		休廃止の時期
事業の課題	既存の映像専用サイトの運営だけでは、公開している映像も古くなり、テレビ制作関係者などにも飽きられてしまう。また、定期的に新しい映像（動画）も公開されていないことから、町内の地域資源の魅力を十分に発信しているとは言えない状況である。		
改善の内容	SNSが普及し、簡単に動画配信も可能となったことから、今後は四万十町公式YouTubeにおいて、定期的に動画を公開していくことで、より一層、地域の魅力を発信していく。動画の制作についても、民間へ制作を委託することで、動画のクオリティの安定化を図りながら、魅力的な映像を全国に発信していく。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	周遊促進事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	交流促進係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	周遊企画を実施することで域内の回遊と消費を促進し、観光入込客と消費の増につなげる。			
事業内容	海洋堂ホビー館のフィギュアコンテンツを核として、町内外事業所が参画する周遊企画を実施する。			
実施年度	R2	～		
事業主体	町			
対象者	観光客			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	5,060				5,060			
	【実績額】	4,722				4,722			
令和5年度の具体的な実施内容		四万十町・南国市を周遊とした北斗周遊百裂拳「シールラリー」「ARフォトフレーム＋SNS投稿キャンペーン」実施。対象店舗で買い物、飲食、体験、宿泊などの条件を達成するとシールを入手でき、集めた枚数に応じて景品を獲得。また、ARスポットでフォトフレームを取得し、撮影された画像を投稿することで名産品が当たる抽選に応募できる。							
成果	【 KPI 】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		ホビー館入込数	R2	20,700	R8	46,000	R5	20,156	
	説明	シールラリー最低枚数の景品交換は、1,115人おり、対象店舗からのシール配布により、周遊に参加した人がいた。アンケート結果から、コンプリートした264人の中のうち、113人が県外の方だった。また、この参加者の約4割は宿泊していたことから入込客数と消費額の増大につながった。							

3 評価結果			
評価結果	B 改善して継続		休廃止の時期
事業の課題	県外からの参加者も多くおり、消費額の増大につながっているが、条件の難易度（四万十町と南国市両方回ってコンプリートすることや金額設定）が高く、周遊企画を途中でリタイアした人がいた。また、対象店舗で周遊企画を知った人がイベントに手軽に参加したいと思える企画を考え必要がある。		
改善の内容	条件の難易度を下げるため、四万十町編、南国市編に分け、一方でも両方でも気軽に達成できる内容とする。また、対象店舗で企画を知った人も参加しやすいように、飲食代の金額など設定を低くしさらなる入込客数の増大につなげる。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	四万十川アドベンチャーパークプロジェクト事業		
担当課	十和地域振興課	担当係	企画産業係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	令和元年度末に道の駅四万十とおわ敷地内に整備された「四万十川ジップライン」を中心に、道の駅四万十とおわの滞在時間延長とともに交流人口の拡大を図る。			
事業内容	「四万十川ジップライン」を中心に、四万十町の新たな体験型観光拠点「四万十川アドベンチャーパーク」として、ご成婚の森の散策、川舟下りなどとあわせたコースメニューの作成、イベント企画・開催をする。			
実施年度	R3	～	R6	
事業主体	四万十町			
対象者	町内の観光客及び事業者			

2 実施結果									
事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
		【計画額】	300						300
【実績額】									
令和5年度の具体的な実施内容		令和5年度より「四万十川ジップライン」が指定管理施設となり、「道の駅四万十とおわ」の指定管理者と同一事業者となり、一体的な運営ができ、昨年度以上に連携した取組ができるようになった。 ・8月…道の駅「夜市」にて、夕方の特別便「夕暮れジップ」開催 ・新春「初ジップ」ジップライン利用者全員にはずれなし新春くじ							
成果	【 KPI 】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		四万十川ジップライン入込客数	R3	8,269	R8	13,000	R5	8,909	
	道の駅四万十とおわ入込客数	R3	91,860	—		R5	109,585		
	説明	四万十川ジップラインと合わせたイベントを企画・開催することにより、道の駅四万十とおわへの入込客数の増加、滞在時間延長が見られた。また、「四万十川ジップライン」が指定管理施設となったことにより、今まで以上に連携してイベント企画等が開催されるようになったため、令和6年度で事業完了とする。							

3 評価結果			
評価結果	D 完了	休廃止の時期	—
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	十和観光施設整備事業		
担当課	十和地域振興課	担当係	企画産業係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	魅力ある宿泊施設を整備することで、観光客の十和地区での滞在時間の延長を目指す。			
事業内容	老朽化の激しい、三島キャンプ場、昭和ふるさと交流センターについて、現在のニーズを普及しつつ他施設との差別化を図り、再整備する。			
実施年度	R3	～		
事業主体	四万十町			
対象者	観光客、町民			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
			国	県	地方債	基金	その他
【計画額】		128,481	62,687	20,870	40,800		4,124
【実績額】		162,815	80,102	16,666	62,600		1,447
令和5年度の具体的な実施内容		■三島キャンプ場リニューアル整備工事 実施設計単価更正委託料：484,000円 工事監理委託料：2,926,000円 本体工事（建築主体）：96,668,000円 本体工事（電気設備）：5,918,000円 本体工事（機械設備）：17,688,000円 テントサイト整備工事：22,825,000円 備品・消耗品購入：4,915,510円 既存建築物撤去工事：1,177,000円 用地造成工事：1,188,000円 水道敷設工事：8,877,000円 ONU移設・Wi-Fi設備移転：149,010円					
成果	【KPI】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度
		入込客数（三島キャンプ場）	R2	1,264	R8	2,500	R4
		入込客数（交流センター）	R2	3,017	R8	4,500	R5
	説明	老朽化した、三島キャンプ場の施設整備を行った。 また、新しくビジターセンターを整備し、四万十の暮らしを体験できるメニューを用意することにより、観光客の受け入れ体制強化につながった。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続		休廃止の時期
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	コワーキングスペース管理運営事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	地場産業推進係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	多様化する働き方に対応し、移住者及び定住者の増加を図るとともに、町内外の企業、高校、大学、団体等の知見及びネットワークの活用並びに相互の交流を促進することにより、新たな経済活動創出及び育成を図る。			
事業内容	施設の維持管理及び運営（個人事業主・在宅勤務者等に対する働く空間の提供、町内外の事業者及び住民等が交流する機会の提供等）			
実施年度	R4	～		
事業主体	町（指定管理者）			
対象者	町内外の中・高・大が規制、地元企業、都市部起業、住民等			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
		【計画額】	2,360			662	1,698	0	
【実績額】		2,306			700	1,255	351		
令和5年度 の具体的な実施内容		施設の維持管理及び運営 ・消耗品費…47千円 ・水道光熱費…529千円 ・通信費…32千円 ・手数料…11千円 ・委託料（システム保守、受付業務、清掃等）…1,500千円 ・受信料…119千円 ・使用料…68千円							
成果	【 KPI 】 重 要 業 績 評 価 指 標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		イベントの開催	R2	0	R8	24	R5	0	
		登録企業数	R2	0	R8	4	R5	3	
	説 明	令和5年度には、インターネットの通信速度を早くするための改修工事を行った。 また、受付業務を委託している業者と定期的に協議をし利用者が使用しやすい施設となるよう維持管理に努めた。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	自然体験観光施設整備事業				
担当課	にぎわい創出課		担当係	交流促進係	

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	自然体験観光施設を整備し、快適な環境を提供する。			
事業内容	四万十町が管理する自然体験観光施設において、利便性の向上を図るため、トイレの改修等の環境整備を実施する。			
実施年度	R4	～	R7	
事業主体	町			
対象者	四万十町を訪れる観光客			

2 実施結果

事業費等内訳		(単位：千円)						
		事業費	国	県	地方債	基金	その他	一般財源
			【計画額】					
【実績額】								
令和5年度の具体的な実施内容		令和3年度に事業終了						
成果	【 KPI 】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
			R2					
	説明							

3 評価結果

評価結果	C 休廃止	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	二次交通促進事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	交流促進係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	二次交通の整備を図り、旅行者にとって周遊しやすい環境整備と利便性の向上を目的とする。			
事業内容	シェアサイクリングを導入し、観光客等の移動の利便性向上、町民の健康増進、地域の回遊性向上による観光の振興及び交流の促進に繋げるとともに、環境に配慮した二次交通の整備を図る。			
実施年度	R4	～	R4	
事業主体	町			
対象者	町民、来訪者			

2 実施結果

事業費等内訳		(単位：千円)						
		事業費	国	県	地方債	基金	その他	一般財源
			【計画額】					
【実績額】								
令和5年度の具体的な実施内容		令和4年度に事業終了						
成果	【 KPI 】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
			R2					
	説明							

3 評価結果

評価結果	D 完了	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	ワーケーション促進事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	交流促進係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	新たな旅のスタイルが流行する中で、ワーケーションの導入を図り交流人口の拡大を目指す。			
事業内容	本町の特色を生かしたワーケーションルートやメニュー開発に取り組むほか、ワーケーション用のHP及びプロモーション動画を作成し、ワーケーション導入の受け入れ体制の整備を促進する。			
実施年度	R3	～	R3	
事業主体	町			
対象者	町民、訪問者			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
【計画額】									
【実績額】									
令和5年度の具体的な実施内容		令和3年度に事業終了							
成果	【 KPI 】 重 要 業 績 評 価 指 標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
			R2						
		説 明							

3 評価結果

評価結果	D 完了	休廃止の時期	—
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	松葉川温泉改修事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	交流促進係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	町民の健康でゆとりのある生活の向上に寄与するため、健康増進と保養等の活動の促進を図り、あわせて地域間交流その他の用に供する施設として設置される松葉川温泉の改修を実施する。			
事業内容	松葉川温泉の老朽化に伴い、施設内の整備等を含む改修や解体撤去を実施する。			
実施年度	R2	～	R7	
事業主体	町			
対象者	施設利用者			

2 実施結果

事業費等内訳		(単位：千円)						
		事業費	国	県	地方債	基金	その他	一般財源
	【計画額】	27,484						27,484
	【実績額】	1,041						1,041
令和5年度の具体的な実施内容		老朽化して崩壊の恐れのある社員宿舍及び別棟解体工事をおこなった。						
成果	【 KPI 】 重 要 業 績 評 価 指 標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		観光客数（施設・イベント合計）	R2	697,738	R9	1,000,000	R5	820,183
	説 明	危険建物の撤去をおこない、周辺住民や施設利用者の安全確保につながった。						

3 評価結果

評価結果	B 改善して継続	休廃止の時期	
事業の課題	新たな指定管理に向けた施設の改修及び老朽化した源泉からのパイプ改修など大規模改修を行う。		
改善の内容	新たな指定管理者のもと、より集客を図れる施設としていく。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	観光列車活用事業		
担当課	にぎわい創出課	担当係	交流促進係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	ものがたり列車「志国土佐 時代の夜明けのものがたり」運行に合わせて、各種おもてなし活動の実施や観光資源の磨き上げを行い、観光消費への誘導と地域の魅力発信を行う。			
事業内容	・列車からの景観を楽しませられるようおもてなし活動を実施する。 ・沿線の美化活動(草刈り、植栽)を実施する。			
実施年度	R3	～	R6	
事業主体	町			
対象者	観光列車乗客			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費	(単位：千円)				
			国	県	地方債	基金	その他
							一般財源
【計画額】		946					946
【実績額】		946					946
令和5年度の実施内容		観光列車内でのおもてなし活動を計24回実施し、地元小学校や地域住民らの参加を頂き「かかしコンテスト」を実施した。 仁井田未来会議による「沿線の美化活動」については、影野トンネル鉄橋から影野駅までの法面に菜の花を植栽した。					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度 数値
		窪川駅を利用する乗客者数	R4	6,900	R7	10,000	R5 7,937
	説明						
		列車内でのおもてなし活動や、駅構内での町内事業所の販売もあり観光PRにつながった。					

3 評価結果			
評価結果	C 休廃止	休廃止の時期	令和7年度
事業の課題	令和4年度に観光列車活用検討協議会が終了。 スタッフの高齢化による活動継続が難しい中で、一定の役割は果たしたと判断したため。		
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	異文化交流促進事業		
担当課	企画課	担当係	地域振興係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	挑戦し続ける産業づくり		
	政策目標	本物のおもてなしがあるまち		
	施策目標	交流の促進		
事業目的	異文化交流促進事業は、異文化相互理解の活動を通して、高知県四万十市、高岡郡四万十町（以下「高知県四万十地域」という。）と韓国の理想とする社会福祉の実現へ向けて相互交流を推進するとともに、高知県四万十地域の国際化推進を図ることを目的とする。			
事業内容	各地域で活躍する国際交流員と活動連携し、異文化交流を中心とした総合交流の推進や地域活動への参加及び韓国語教室を実施する。			
実施年度	H24	～		
事業主体	協議会			
対象者	四万十町民			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】								
	【実績額】								
令和5年度の具体的な実施内容		事業実施主体である、四万十地域国際交流促進協議会としての活動は幹事会の開催のみ。協議会の今後については、令和6年度中の解散に向け協議していく。 また、韓国コチャン郡との交流は事業主体を四万十町とした別事業で進めていくこととなった。							
成果	【 KPI 】 重 要 業 績 評 価 指 標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		コチャン郡との交流回数	R4		R8	1	R5		
	説 明	令和5年度について成果なし。							

3 評価結果

評価結果	C 休廃止	休廃止の時期	令和7年度
事業の課題	新型コロナウイルス感染症などの影響や協議会参加者の高齢化など、協議会としての活動が難しくなってきた。今後は協議会の解散に向けて協議を進めていく。		
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	四万十川PR事業		
担当課	企画課	担当係	四万十川振興室

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針		挑戦し続ける産業づくり	
	政策目標		本物のおもてなしがあるまち	
	施策目標		交流の促進	
事業目的	四万十川での自然体験や環境学習、川に触れる機会の創出、積極的なPRなどを通じて四万十川に関わるきっかけを増やすことで、関係人口の増加や交流の促進、地元への愛着度を深める。			
事業内容	①川ガキ育成事業（川での環境学習、川遊び体験、自然体験学習等）②四万十川のPR素材の開発・プロモーション③四万十川のイメージ戦略の構築と展開			
実施年度	R1	～	R8	
事業主体	四万十町、学校			
対象者	住民、観光客、児童生徒、町外で四万十川に関心のある人			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		6,300	3,000		3,000		300
【実績額】		3,550	1,775		1,775		
令和5年度の具体的な実施内容		①高知大学連携委託事業 3,000,000円 ・竹水鉄砲国際大会の初開催 ・中津川地域資源イベントリ調査 ・四万十町サステナブルツーリズムセミナー事業 ・四万十川流域モデルツアーメニュー開発 ・学生連携を通じた防災促進事業 ②四万十川PR素材作成委託事業 550,000 円 ・四万十町のPR 用アプリゲーム「40010（シマント）～ひみつのともだち～」のキャラクターを活用したポスター及びイラストを計6種類作成。					
成果	【 KPI 】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度 数値
		環境学習参加児童数（参加校）	R2	2	R8	5	R5 5
		アプリゲームDL数	R4	1,628	R8	-	R5
	説明	①竹水鉄砲国際大会では、町内外から40名の参加者があり四万十川の魅力を伝えることができた。中津川へ高知大生が訪問し、地域住民と学生の協働による地域資源の資源の可視化ができた。SDGsツーリズムを2回開催し、参加者は四万十川を活用した観光・未来を考えることができた。四万十川流域モデルツアーでは学生が実際に四万十町をめぐり、SNSでのショート動画を作成した。防災事業では志和地区での夜間の野外キャンプを行い、夜間での課題や解決の提案につながった。					
		②キャラクターイラストを活用し広報紙・ケーブルTV・観光施設へのチラシ配布・小中学校タブレットDL・高知大連携事業を通して大学生へのPRを行うことによりアプリは213DLを達成した。					

3 評価結果			
評価結果	B 改善して継続		休廃止の時期
事業の課題	①高知大学連携委託事業 ・四万十川PRに必要な事業の選択を行う。 ②四万十川PR素材作成委託事業 ・アプリのPR不足によるDL数の頭打ち ・アプリ内容の改善の必要性		
改善の内容	①高知大学連携委託事業 令和6年度では、竹水鉄砲国際大会の実施と四万十川の未来づくりワークショップの実施の2事業を継続し、他の事業は終了とする。 ②四万十川PR素材作成委託事業 アプリ内容の改善は、SNS上での評価や実際のプレイヤーへの聞き取りにより確認する。 令和6年度に内容の改善がDL数の増加やプレイヤーの満足につながるか判断する。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6 行政評価シート

施策目標(10)

住民主体の地域づくり

事業番号 36～46

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	住民自治事業		
担当課	企画課	担当係	地域振興係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	住民主体の地域づくりの推進		
事業目的	地域住民との協働のまちづくりを推進するため、各行政区の代表を行政区長として委嘱を行うことにより、行政情報の周知を図るとともに、住民主体の協働の自治活動の促進及び自治意識の向上・啓発を推進する。			
事業内容	各地区区長会及び区長連絡会の開催、区長等に対する各種研修事業を実施する。また、行政区の再編を行うことにより、適正規模の自治組織の構築を図る。			
実施年度	H18	～		
事業主体	町			
対象者	区長等			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
		【計画額】	24,400					24,400	
【実績額】		25,305				1,118	24,187		
令和5年度の具体的な実施内容		各地区区長会、区長連絡会の開催。 区長連絡会メンバーによる視察研修（福祉有償運送について）の実施。 また、若井川地区及び東大奈路地区において、行政区再編の協議を行った。							
成果	【 KPI 】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		行政区数	R4	226	R8	200	R5	224	
	説明	区長会及び区長連絡会は、行政情報の発信や地区の要望の集約など町行政と町民を繋ぐ一つのパイプとして機能している。また福祉有償運送視察研修では、事前学習を含め現状の課題や対策など理解を深めることができた。 行政区再編について、若井川地区においては令和6年1月より再編され、東大奈路地区においては令和7年1月に再編予定である。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	集落活動センター支援事業		
担当課	企画課	担当係	地域振興係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	住民主体の地域づくりの推進		
事業目的	人口減少や高齢化が進む本町において、集落機能の維持や地域活動の担い手確保等の課題を解決するため、集落同士の連携等により地域コミュニティの再生や自立の仕組みづくりに向けた取り組みを促進する。			
事業内容	施設を拠点とした地域づくりの推進、施設整備後の活動支援、簡易宿泊施設の整備及び運営等を行う。			
実施年度	R1	～		
事業主体	町			
対象者	地区の住民			

2 実施結果								
事業費等内訳		事業費	(単位：千円)					
			国	県	地方債	基金	その他	一般財源
		【計画額】	5,200		1,000			2,160
【実績額】	5,077		4			2,469	2,604	
令和5年度の具体的な実施内容		【共通】施設管理、光熱水費基本額の助成、役員会や総会への職員出席 【けやき】簡易宿泊施設運営委託、集落活動センター意見交換会（県事業活用によるアドバイザー派遣）の実施						
成果	【 KPI 】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		宿泊者数	R3	165	R8	700	R5	682
		新規事業（業務委託含む）への取り組み件数	R3		R8	3	R5	
	説 明							
		光熱水費基本額の助成を行い、施設運営の負担軽減に繋がった。 役員会等へ職員が出席することで、各センターが持つ課題の共有などが図れた。						

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	地区集会施設整備支援事業				
担当課	企画課	担当係	地域振興係		

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり			
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち			
	施策目標	住民主体の地域づくりの推進			
事業目的	地域コミュニティ活動の拠点である集会施設の整備支援により、自治組織の育成と集落活動の維持・活性化を図る。				
事業内容	地域の自治組織が主体的に取り組む集会施設の整備に対して補助金を交付する。				
実施年度	H20	～			
事業主体	自治会				
対象者	自治会				

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	3,000				3,000			
	【実績額】	1,018				1,018			
令和5年度の具体的な実施内容		大正橋集会所：トイレ及び和室床修繕 壱斗俵集会所：カーテンレール交換改修 与津地集会所：敷地内舗装 藤ノ川集会所：敷地内舗装 仕出原集会所：照明器具取替修繕 八千数集会所：和室畳交換及び敷地内舗装 芳川集会所：床材張替え							
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容		当初値		目標値		現状値	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値
		採択事業数		R4	7	R8	10	R5	7
	説明	地区からの要望による地区集会所の改修は、地域の自治活動の継続に繋げ、また、一部助成を行うことで地域の負担軽減を図ることで継続した活動への支援となっている。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	地区活動支援事業		
担当課	企画課	担当係	地域振興係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	住民主体の地域づくりの推進		
事業目的	住民自治の発展と豊かで活気ある地域を創造するため、地域のコミュニティ活動を支援する。			
事業内容	自治会が取り組む活動及び区長業務に対する補助金の交付やその活動支援等を行う。区長活動支援（区長活動に要する経費）、自治会活動支援（該当地区が実施する活動に要する経費）、地域活動支援（複数の地区等が共同で実施する活動に要する経費）が対象となる。			
実施年度	H24	～		
事業主体	町			
対象者	自治会			

2 実施結果								
事業費等内訳		事業費						(単位：千円)
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源	
		【計画額】	15,000			15,000		
【実績額】		12,841			12,841			
令和5年度 の具体的な実施内容		自治会活動支援交付金 11,275千円 地域活動支援事業交付金 812千円 自治会保険補助金 754千円						
成果	【 KPI 】 重 要 業 績 評 価 指 標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		自治会活動支援事業を申請した地区数	R4	191	R8	200	R5	196
説明	自治会活動を通じ、地域の一体感の造成や地域活性化などコミュニティ活動の推進を図ることができた。							

3 評価結果			
評価結果	B 改善して継続		休廃止の時期
事業の課題	自治会の規模（世帯数）による活動経費の違いに対し、一律の交付額であったため、規模感に対する不均衡が課題である。		
改善の内容	自治会の規模（世帯数）により交付額を決定する。また、実際の活動費に対し助成することで、積極的な自治会活動を促す。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	集落支援員制度		
担当課	企画課	担当係	地域振興係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	住民主体の地域づくりの推進		
事業目的	高齢化の進行や人口の減少に伴い、地域活動の担い手不足が深刻化する中、住民と行政との相互連携により、住民が主体となった協働による地域づくりを推進することを目的とする。			
事業内容	地域の課題解決に取り組む地区に集落支援員を配置し、担当地区と関係機関との連絡調整や課題整理、地域コミュニティの活性化につながる活動等への支援を行う。			
実施年度	R1	～		
事業主体	町			
対象者	町			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
			国	県	地方債	基金	その他
【計画額】		2,000		1,000			1,000
【実績額】		1,992		985			1,007
令和5年度の具体的な実施内容		野地・家地川地域への集落支援員の配置					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度
		集落支援員の設置人数	R3	1	R8	5	R5
	説明	野地・家地川地区の集落活動センターである「けやき」に配置することにより、円滑な施設運営に寄与することができた。					

3 評価結果			
評価結果	B 改善して継続		休廃止の時期
事業の課題	高齢化等により、それぞれのセンターにおいても活動を継続していくことが課題となっている。また、施設運営には一定の収益が必要となるが物価高騰などの影響により経費が増大している。		
改善の内容	集落活動センター開設当初に配置していた集落支援員を改めて配置し、センターのみならず、地域課題の集約や解決に向けた体制の構築を図る。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	大正北部地域づくり推進事業		
担当課	大正地域振興局	担当係	企画産業係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	住民主体の地域づくりの推進		
事業目的	大正北部には、自然体験や交流、移住定住等につながるような地域資源があるが、人口減少や少子高齢化が加速し、集落の維持が難しくなっており、地域の課題解決や地域の活性化に向けた取り組みを進める。			
事業内容	大正北部地域の現状や課題を把握し、地域の将来に向けた取り組みを推進するため、地域づくりの基本構想を策定する。			
実施年度	R3	～		
事業主体	町			
対象者	大正地域住民及び町外来訪者			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		1,000	600				400
【実績額】		2,992	2,992				
令和5年度の具体的な実施内容		高知県小さな集落活性化事業を活用し、地域の現状や課題の把握に努め、人口減少対策や地域資源の活用を考え、「交流人口・関係人口づくり」につながるよう伝統文化の保存・継承や地域新聞の発行、森林軌道跡地のウォーキングトレイルの景観整備を図るなどし、将来にわたって元気な集落を目指し、山間部における持続可能な集落の維持・発展の取り組みを行った。					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度 数値
		大正北部地域の世帯数	R2	292	R5	292	R5 285
	説明	伝統文化の保存・継承に向けた取り組みとして、下津井の冬もうしで行っている牛鬼や花取り踊りの映像を記録として残すとともに、郷土芸能保存会による踊りの指導者の育成に努めた。また、地域の行事や催し物、季節ごとの祭り等を取材・撮影した地域新聞「下津井ふるさとだより」を年8回発行した。その「ふるさとだより」を地域住民だけでなく、町外で暮らす下津井出身者にも送付することで、生まれ育ったふるさとの愛着をさらに深め、ふるさとに帰るきっかけとなり、お祭りやお盆・年末年始の帰省客が増えるなど「交流人口・関係人口づくり」につながった。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	戦没者遺族等支援事業		
担当課	健康福祉課	担当係	地域福祉係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	住民主体の地域づくりの推進		
事業目的	戦争による死亡に関し、国家補償の精神に基づき、遺族を援護する。			
事業内容	遺族会が行う遺族会活動、各地区における慰霊祭、町内7地区の遺族会の連合会の活動に対し補助を行う。			
実施年度	H18	～		
事業主体	遺族会（町内7地区）遺族会連合会、区長会			
対象者	遺族会、遺族会連合会、区長会			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費	(単位：千円)						
			国	県	地方債	基金	その他	一般財源	
【計画額】		2,071						2,071	
【実績額】		1,371						1,371	
令和5年度の具体的な実施内容		慰霊祭については7カ所開催。遺族会の活動については慰霊祭への参加や町及び県への追悼式への参加。							
成果	【 KPI 】 重 要 業 績 評 価 指 標	KPIの内容		当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		慰霊祭の執行、追悼式への参加	R4	8	R8	9	R5	8	
	説 明	慰霊祭や追悼式を通じて、先の大戦で尊い命を失われた戦没者の方々に対し、誠を捧げるとともに恒久平和を祈念し、戦争の惨禍を後世へ伝える機会となっている。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	大正地域まちづくり推進協議会				
担当課	大正地域振興局	担当係	企画産業係		

1 事業概要					
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり			
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち			
	施策目標	住民主体の地域づくりの推進			
事業目的	大正地域の持続的な発展及び次代の後継者の育成等を目的として、「大正地域まちづくり推進協議会」を運営する。				
事業内容	大正地域の振興全般について意見を述べ、助言すること等を目的に会議を開催する。				
実施年度	H28	～			
事業主体	町				
対象者	協議会委員１０名				

2 実施結果							
事業費等内訳	事業費	(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
	【計画額】	220					220
	【実績額】	295					295
令和5年度の具体的な実施内容		大正地域まちづくり推進協議会は、公的団体等の委員と公募による委員で構成し、地域振興や地域課題等について、年2回の会議を開催した。 メンバーは、主に商工会青年部やPTA、青年団、区長会、社会福祉協議会職員等で、30～40代が中心である。 令和5年度は、“花を活かしたまちづくり”をテーマにし、「協議会として何かできることはないか、自分たちで動いてみよう」という考えから、地元の四万十高校と連携し、大正まちなかの商店街や周辺地域にプランターの花を飾る取り組みを実施した。					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度
		会議の開催回数	R3	3	R8	5	R5
	説明						
		町長の公約にも掲げられている「花とみどりのまちづくり」につながる取り組みでもあり、地域住民にも積極的に呼びかけた結果、多くの住民の協力を得ることができ、プランターを商店街の道沿いに設置する取り組みが広がりを見せた。 また、地元高校生が育てた花を活用することで、地元の一体感と地域や住民同士のつながりを感じるとともに、土佐大正駅周辺や大正商店街沿いに花があることで、明るいまちなかの雰囲気を作ることができた。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	十和地域まちづくり推進協議会		
担当課	企画課	担当係	

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	住民主体の地域づくりの推進		
事業目的	十和地域の持続的な発展及び次代の後継者の育成を目的として設置した”まちづくり推進協議会”を運営する。			
事業内容	十和地域の振興全般について意見を述べ、助言すること等を目的に会議を開催する。			
実施年度	H28	～		
事業主体	町			
対象者	協議会委員10名			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源	
	【計画額】	220						220
	【実績額】	156						156
令和5年度の具体的な実施内容		計4回の会議を開催した。						
		任期2年を満了したため、令和5年10月より新体制となった。						
		①令和5年5月16日 出席6名（欠席4名）報償費31,110円						
		②令和5年8月29日 出席6名（欠席4名）報償費31,110円						
		③令和6年1月19日 出席9名（欠席1名）報償費46,160円						
		④令和6年3月18日 出席9名（欠席1名）報償費46,830円						
		合計155,210円						
成果	【 KPI 】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		十和地域まちづくり推進協議会の開催回数	R3	4	R8	5	R5	4
説明		令和5年度は、町からの投げかけにより観光交流拠点施設（道の駅めぐり窪川裏）について協議するなどがメインであったことから、特定のテーマについての協議が無かった。しかしながら、令和4年度には図書館十和分館についての協議を重ね、意見書（必要性、および求める機能）が提出されており、それを受けて、十和分館整備検討委員会が立ち上がっている。						
		また、新委員を選任し開催した後半2回では、今後の議題を「十和地域の活性化」「文化の保存・継承」に決定し、現在協議を進めている。						
		なお、新委員は、委員10名のうち、7名が入れ替わるなど、後継者の育成の場ともなっている。						

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	基幹集落センター整備事業		
担当課	企画課	担当係	地域振興係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針		生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり	
	政策目標		生きがい・誇りを持てるまち	
	施策目標		住民主体の地域づくりの推進	
事業目的		町民の地域活性化拠点として、産業振興、コミュニティ活動の向上を図るため、多目的機能を発揮する施設を整備する。		
事業内容		作屋地区、七里地区それぞれの自治活動拠点として機能していた作屋就業改善センター及び七里集会所が老朽化し、取り壊しの予定となっている。このため、代替となる施設として、松葉川全体のコミュニティ活動をより推進するため、拠点となる基幹集落センターを整備する。		
実施年度		R4	～	
事業主体		町		
対象者		四万十町民		

2 実施結果							
事業費等内訳		(単位：千円)					
		事業費	国	県	地方債	基金	その他 一般財源
		【計画額】	160,000		160,000		
		【実績額】	7,579		6,000		1,579
令和5年度の具体的な実施内容		令和5年度は、前年度から地元である松葉川地区において基幹集落センター検討委員会を立ち上げ、ワークショップを開催するなど、地元との協議を進め基本設計を作成した。また、それを基に実施設計を作成した。					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度 数値
		年間利用者数	R3		R8	1,000	R5
	説明						
		計画では令和5年度に完成予定であったが、地元との協議を重視し時間を掛けたことで完成予定が令和6年度となったものであるが、地元と協議を進めたことは今後の施設の整備と活用について、有意義なものとなった。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続		休廃止の時期
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	影野駅周辺整備事業		
担当課	企画課	担当係	地域振興係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	住民主体の地域づくりの推進		
事業目的	JR影野駅舎の閉鎖に伴って、JR利用者及び観光客等の利用できる公衆トイレがないことから、駅周辺に公衆トイレ整備し利便性確保を図る。			
事業内容	影野駅敷地内に公衆トイレを整備する。			
実施年度	R4	～	R6	
事業主体	町			
対象者	JR利用者及び観光客			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	14,733				14,500		233	
	【実績額】	14,615				14,500		115	
令和5年度の具体的な実施内容		ＪＲ影野駅舎横に公衆トイレを整備した。今後は維持管理が必要となる。							
成果	【 KPI 】 重 要 業 績 評 価 指 標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		交流人口	R4		R7	700	R5	100	
	説 明	ＪＲ影野駅舎の閉鎖により公衆トイレが無い状況が続いた。今回の整備により公衆衛生上非常に効果があった。また、駅前周辺でマルシェを開催する際にもトイレの有無は集客にも影響するものであり、地域活性化に繋がるものであった。							

3 評価結果			
評価結果	D 完了		休廃止の時期
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6 行政評価シート

施策目標(11)

人権尊重の推進

事業番号 47～49

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	人権教育推進支援事業		
担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	人権尊重の推進		
事業目的	すべての住民が個人の価値を尊び、一人ひとりの人権が守られ、人権を尊重する社会づくりを促進する。			
事業内容	人権教育活動に取り組んでいる「町人権教育研究協議会」と協働し、様々な講座や勉強会などを開催するとともに、人的、物的及び金銭的支援を行う。			
実施年度	H19	～		
事業主体	四万十町人権教育研究協議会			
対象者	町民			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	2,593						2,593	
	【実績額】	2,008						2,008	
令和5年度の具体的な実施内容		第12回四万十町人権教育研究協議会研修会として町民を対象に「心の傷を癒すということ」と題し人権映画上映会を約2年ぶりに開催した。 窪川支部では6月21日に人権研修会として講演会を行い、2月1日には集約大会を行った。 大正支部では小中学校・高等学校に人権作文を依頼し製本配布を行った。 十和支部では人権啓発アニメーション上映会や人権講演会、夏休み木工教室を開催した。 人権尊重の町づくりを進めるため、これらの活動を推進している団体に対し支援(補助金)を行った。							
成果	【KPI】 重要業績 評価指標	KPIの内容		当初値		目標値		現状値	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値
		会員数		R2	714	R8	800	R5	631
		人権研修会への年間参加者数		R2	44	R8	200	R5	61
	説明	【町人権教育研究協議会】会員数：窪川289人 大正205 十和137 R5人権研修会参加者数：61人 町人権教育研究協議会と協働し、町民に対して人権研修会として講演や映画上映会等を開催することで、人権を尊重するまちづくりを目指すことができた。 また各支部でも講演会や映画、アニメーションの上映会、集約大会等を開催し支部ごとに地域にそった人権を尊重するまちづくりを図れた。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	人権尊重のまちづくり事業		
担当課	町民課	担当係	年金子ども手当係

1 事業概要				
総合振興計画における 位 置 づ け	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	人権尊重の推進		
事 業 目 的	町民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを目指す。			
事 業 内 容	人権に対する正しい理解の普及に努めるとともに、人権課題に対する取り組みを促進する。			
実 施 年 度	R4	～		
事 業 主 体	四万十町			
対 象 者	町民			

2 実施結果		(単位：千円)							
事業費等内訳		事業費	国	県	地方債	基金	その他	一般財源	
		【計画額】	200						200
		【実績額】	11						11
令和5年度の具体的な実施内容		職員研修の実施 〈第1回〉 日 時：令和5年10月4日（水）場 所：〈午前〉大正地域振興局、〈午後〉本庁東庁舎 テーマ：障がい者・高齢者の人権 〈第2回〉 日 時：令和6年1月31日（水）場 所：本庁東庁舎、大正・十和（オンライン） テーマ：LGBTQ（セクシャルマイノリティ、性的指向、性自認など） 実績額：11,040円（講師の費用弁償＋ETC代）							
成果	【 KPI 】 重 要 業 績 評 価 指 標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		研修会、講習会の定期的な開催	R4	100	R8	100	R5	100	
	説 明	第1回 障がい者・高齢者の人権 研修参加者 46名 〈午前〉12名〈午後〉34名 第2回 LGBTQ（セクシャルマイノリティ、性的指向、性自認） 研修参加者 58名 〈本庁〉41名〈興津〉3名〈大正〉7名〈十和〉7名 職員の意識・知識向上につながる							

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続		休廃止の時期
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	重層的支援体制整備事業		
担当課	健康福祉課	担当係	地域福祉係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	人権尊重の推進		
事業目的	複合化・複雑化した支援ニーズに対応する重層的な支援体制を構築するため、「断らない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に行う。			
事業内容	地域の実情に応じた「重層的相談支援体制」構築に向け、健康福祉課、高齢者支援課等の各相談窓口で実現可能な相談体制を協議、構築していく。障がいのある方や生活困窮者など生活上の様々な問題を重複して抱える世帯に対し、断らない窓口としての庁内連携整備、座談会やサロン等への参加支援、地域での一体的な就労等に向けた支援を行うため、関係機関での調整を行う。			
実施年度	R4	～		
事業主体	町、社会福祉協議会			
対象者	町			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
			国	県	地方債	基金	その他	一般財源	
	【計画額】	7,000	5,250					1,750	
	【実績額】	7,000	5,250					1,750	
令和5年度 の具体的な実施内容		しまんと町社会福祉協議会へ事業委託し、複合化に応じた悩み相談を断らない窓口として対応し、体制を整備した。また、令和5年度は生活困窮から切り込み、複合化した世帯への対応方法を関係機関で情報共有し、対応している。支援者1人で悩みを抱えることなく対応できる体制を作っていく。							
成果	【 KPI 】 重 要 業 績 評 価 指 標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		重層的支援会議の開催（実務者会議）	R2		R8	4	R5		
		個別支援会議の開催	R2	12	R8	12	R5		
	説 明	令和5年度は複合化した相談への体制の整備もあり、役場内の関係各課との協議も行った。体制については確定には至っていないので、令和6年度に体制構築予定。 個別支援については、既存の会議を移行しようとしたが、困難だったため振り出しに戻り重層事業のケース会を開催し検討した。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6 行政評価シート

施策目標(12)

芸能文化・生涯学習・スポーツの推進

事業番号 50～67

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	図書館管理運営事業		
担当課	生涯学習課	担当係	文化振興係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	町民の読書活動や学習活動を支援するために必要な図書・資料の整備や情報の提供等により、利便性の充実と蔵書の有効活用を図る。また、子どもの読書活動を推進し、もって子どもの健やかな成長に資する。			
事業内容	町立図書館の適正な職員配置と資料の充実を図り、読み聞かせボランティアの拡大、学校との連携強化を行う。また、遠隔地への図書館サービスが行き渡るように、移動図書館車のサービスを充実させていく。			
実施年度	H19	～		
事業主体	町			
対象者	町民、町内に通学・勤務等する者			

2 実施結果								
事業費等内訳		事業費	(単位：千円)					
			国	県	地方債	基金	その他	一般財源
		【計画額】	44,565				3,000	
【実績額】	41,690				2,900	3	38,787	
令和5年度 の具体的な実施内容		建設予定であった文化的施設の整備に向けて蔵書数の増加と、図書貸出しシステムの入替え、新しい文化的施設のサービス計画の一つであった移動図書館の試行運転を行った。						
成果	【 KPI 】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		図書館来館者	R2	19,549	R8	40,000	R5	24,942
		貸出密度（人口一人当たりの貸出冊数）	R2	3	R8	4	R5	4
	説明	移動図書館の新規運行、宣伝効果により本館、分館を含めた全体の利用登録者数、入館者数が増え、貸出し冊数も増加した。						

3 評価結果			
評価結果	B 改善して継続		休廃止の時期
事業の課題	館内がバリアフリーに対応しておらず手狭なため、新たな文化的施設の建設を計画してきたが中止となったため、ハード面での課題を解決する必要がある。		
改善の内容	図書館運営協議会等を通じ、住民からの意見を集約しながら新たな建設計画の検討が必要。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	美術館管理運営事業		
担当課	生涯学習課	担当係	文化振興係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	美術その他芸術文化に関する住民の知識及び教養の向上を図り、本町の芸術文化の振興に寄与する。			
事業内容	美術品及び美術に関する資料の収集、保管および展示を行う。また、年間を通じて町内出身作家や四万十町に関わりのある作家や作品の展覧会を開催する。			
実施年度	H19	～		
事業主体	町			
対象者	町民、来訪者			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費	(単位：千円)					
			国	県	地方債	基金	その他	一般財源
	【計画額】	2,220					30	2,190
	【実績額】	2,832					6	2,826
令和5年度の具体的な実施内容		アンデパンダン展や収蔵作品展を開催するほか、収蔵作品の点検、簡易な修繕を行った。						
成果	【 KPI 】 重 要 業 績 評 価 指 標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		美術館入館者	R2	541	R8	3,000	R5	800
説明	作品展を開催することにより、住民等への芸術文化の振興が図られた。また収蔵作品の点検を行うことにより、修復する必要がある作品数、修復する作品の優先順位が判明した。							

3 評価結果

評価結果	B 改善して継続	休廃止の時期	
事業の課題	文化的施設の建設により解決するはずだった収蔵庫の環境が劣悪なため、作品を保管できる収蔵庫の設置が課題となっている。		
改善の内容	新たな文化的施設の建設を計画、現在の書庫の本を移動し、そこを収蔵庫にするなどの検討が必要。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	国際交流促進事業		
担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	国際感覚を身に付けた人材を育成するため、子どもから高齢者まで幅広い町民が参加できる事業を開催し、より広範囲な交流を図る。また、次代を担う中学生が海外生活の体験を通して外国文化に触れることで、広い視野を持った地域リーダーの育成と国際交流を図る。			
事業内容	異文化ふれあい教室や韓国語教室、保育所訪問等を実施することで、異文化を体験し知識を深めるとともに、異文化理解の場を提供する。海外生活の体験を通して外国文化に触れることができる海外派遣事業では、参加者の募集や選考、補助金の支出を行う。			
実施年度	H19	～		
事業主体	町			
対象者	町民			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	664						664	
	【実績額】	442						442	
令和5年度の具体的な実施内容		国際感覚を身に付けた人材を育成するため、国際交流員（C I R）を中心として、町内の保育所・認定こども園訪問や異文化ふれあい教室など、子どもから高齢者までが参加できる事業を実施し、多くの町民との交流を推進した。 （事業実施回数：英語教室294回 韓国語教室221回 保育所訪問93回） また、高幡広域事務組合の実施する「高幡中学生海外研修事業」への参加者に対する支援として補助金を交付し、研修生の自己研鑽、人材育成を図った。 （参加者：3名）							
成果	【 K P I 】 重 要 業 績 評 価 指 標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		異文化ふれあい教室参加者数	R2	150	R8	200	R5	186	
		海外研修参加希望者数	R2		R8	10	R5	4	
	説 明	C I Rによる異文化教室を実施し、国際理解や外国語学習等を行うことができた。 （事業実施回数：英語教室294回 韓国語教室221回 保育所訪問93回） 「高幡中学生海外研修事業」に参加する生徒に対し、補助金の交付を行い参加者の負担を軽減することができた。また、海外での生活や体験は、国外文化に触れ、文化や習慣などの違いの理解と日本や自分の住んでいる地域を見つめ直す機会となり、幅広い視野と判断力、行動力のあるリーダーの育成とともに語学力（英語）の向上や国際交流、圏域内の人的ネットワークの拡大が図れた。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	窪川四万十会館改修事業		
担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	町内で唯一の500人規模収容可能な文化ホール（音楽・芸能・講演・映画観賞等多目的な活用が可能）を有する「窪川四万十会館」（平成7年築）の設備の改修（更新）を行い、施設の長寿命化及び有効活用を図る。			
事業内容	経年劣化による修繕不能な設備（舞台機構・照明・音響等）の優先順位等を考慮した年度別中期計画に基づき、改修（更新）工事を実施する。			
実施年度	H28	～		
事業主体	町			
対象者	町民等			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		25,000		24,900			100
【実績額】		37,752		37,100			652
令和5年度の具体的な実施内容		平成7年に開館した窪川四万十会館の老朽化した施設設備、舞台設備の更新を行った。 窪川四万十会館 シャワーユニット用電気温水器更新工事 825,000円（過疎債：800,000円） 窪川四万十会館排気ファン(便所系統)更新工事 407,000円 窪川四万十会館 化粧室洗面器止水栓取替工事 220,000円 窪川四万十会館 舞台照明設備調光器盤更新工事 36,300,000円（過疎債：36,300,000円）					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容		当初値		目標値	
				年度	数値	年度	数値
		会館利用率(%)		R4	60	R8	100
	説明						
		各種設備の老朽化状況、耐用年数を鑑みながら計画に基づき更新を行い、利用者の利便向上と施設の長寿命化を図ることができた。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続		休廃止の時期
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	重要文化的景観管理・保存・活用事業		
担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	四万十町の豊かな自然と共生した町民の生活・生業によって築かれ、受け継がれてきた良好な景観を地域資源として守り活かす意識を育み、地域への愛着・誇りを高め、地域の文化に根差した生活・生業の存続を後押しする。			
事業内容	文化的景観整備管理委員会に諮りつつ、四万十川流域の豊かな自然と良好な景観を未来に継承するように努める。			
実施年度	H21	～		
事業主体	町、重要構成要素所有者			
対象者	町民、重要構成要素所有者			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		3,030	1,892				1,138
【実績額】		3,202	1,922				1,280
令和5年度の具体的な実施内容		1. 四万十町文化的景観整備管理委員会の開催 第1回 令和5年9月1日 第2回 令和6年2月21日 第3回 令和6年3月26日 2. 四万十町重要文化的景観整備活用計画改定検討業務(流域事業) 委託事業者：株式会社CLAPプラス 委託費：2,178,000円 3. 四万十川流域の文化的景観情報発信事業(流域事業) 委託事業者：特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所 委託費：699,600円					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容		当初値		目標値	
				年度	数値	年度	数値
		重要構成要素の保存		R2	73	R8	73
	説明						
		1. 四万十町文化的景観整備管理委員会の開催 「四万十町文化的景観整備管理委員会」を3回開催し、関係機関等が実施する事業の景観調整等を行うことができた。 2. 四万十町重要文化的景観整備活用計画改定検討業務 令和3年度、4年度に実施した保存活用計画の改定を受け、重要文化的景観を保存、活用するための実施計画策定に向け流域一体となって検討を行うことができた。 3. 四万十川流域の文化的景観情報発信事業 選定から10年有余りが経過し、四万十川流域の文化的景観に対する知識が薄まりつつあるため、更なる認知度向上等が図れる仕組みづくりを流域一体となって検討を行うことができた。					

3 評価結果			
評価結果	B 改善して継続		休廃止の時期
事業の課題	四万十川流域の重要文化的景観は国選定の文化財になるが、町民の認知度が低く文化財ということを把握されておらず、活用が図れていない。		
改善の内容	四万十川流域の重要文化的景観の認知度を向上させるため、ワークショップの開催やWebコンテンツの充実を図る。また、四万十川流域の重要文化的景観は流域5市町で選定されているため、定期的な意見交換を行いながら流域一体となって更なる活用を図る。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	文化財保存・管理及び文化振興事業		
担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	文化財の調査や保存のために施設・設備を適正に管理するとともに、これらを活用した地域づくりを推進し、後世に引き継ぐ。また、地域に親しまれてきた芸能行事の保存・活用に努める。			
事業内容	国・県の指導の下、文化財保護審議会等に諮りつつ、文化財保存のための管理等を行う。また、文化芸術活動の担い手として、文化協会などの支援に努める。			
実施年度	H19	～		
事業主体	町、文化財所有者、文化協会			
対象者	町民			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
		【計画額】	1,200					1,200	
【実績額】		1,398			300		1,098		
令和5年度の具体的な実施内容		1. 国・県・町指定文化財、埋蔵文化財等の保護活用等を図った。 (1) 文化財の保護活動 ① 四万十町文化財保護審議会の開催（1回） ② 文化財パトロールを実施 (2) その他振興・活用等 四万十町文化財保護事業費補助金 西原地区 文殊堂塗装修繕（町指定文化財） 365,000円							
成果	【 KPI 】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		文化財の保存	R2	137	R8	140	R5	136	
	説明	国・県・町の歴史、文化の向上発展のための文化的資料として活用を図ることができた。また、町民等が貴重な地域の文化財にふれることにより、地域の文化活動の活性化、地域間の交流機会の創出、文化財を活用した地域の活性化にもつながるものとなった。 指定文化財への継承や修繕に対して支援することにより、文化財の保存等が図れた。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	窪川B & G海洋センター管理運営事業		
担当課	生涯学習課	担当係	社会体育係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	海洋性スポーツ、レクリエーション活動等を通じて町民の体力向上と健全な青少年の育成を図る。			
事業内容	指定管理により、窪川B&G海洋センターを運営し町内生涯スポーツの推進を行う。			
実施年度	H19	～		
事業主体	町（指定管理）			
対象者	町民等			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	78,288			6,900		15,925	55,463	
	【実績額】	85,060			10,300		14,900	59,860	
令和5年度の具体的な実施内容		施設の管理運営を指定管理するとともに、第二体育館へ空調設備の設置、和式トイレ4基の洋式化を行った。							
成果	【 KPI 】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		来館者の維持	R2	26,000	R8	35,000	R5	35,008	
説明	説 明	各種スポーツ大会、水泳教室等を開催することにより、スポーツの振興及び住民の健全な心身の育成が図られた。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	社会体育推進事業		
担当課	生涯学習課	担当係	社会体育係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	年齢、性別、体力などに応じた適切な運動の実践を通して、健康で明るい人づくり・町づくりを目指し、町民すべてが参加可能なスポーツ活動を関係団体等と協働して計画実施するとともに健康体力づくりの意欲を育てる取組みを実践する。			
事業内容	住民が参加しやすい大会や教室の開催や、関係団体が主体的に行うスポーツ・レクリエーション活動への支援を行う。			
実施年度	H19	～		
事業主体	町			
対象者	町民			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	6,823						6,823	
	【実績額】	4,578						4,578	
令和5年度の具体的な実施内容		駅伝大会やバレーボールなど各種大会の開催、令和5年度からは新たに窪川高校の部活としてバドミントンを実施した。							
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		社会体育事業の運営企画	R2	11	R8	11	R5	11	
	説明	町内のスポーツクラブと協働してスポーツ大会等を行い、町民へのスポーツ振興、健康体力づくりを図った。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	シルバー大学事業		
担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	高齢者の健康維持・増進や相互交流による生きがいづくりを進めるとともに、人生で培った経験や知識を共有し合うことで、地域の発展に寄与する。			
事業内容	広報や例年の登録受講生を通じ新規受講生を募り、年間を通じて講演会、県外研修、軽スポーツなどの場を提供する。			
実施年度	H19	～		
事業主体	町			
対象者	町内の60歳以上の受講希望（登録）者			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費	(単位：千円)						
			国	県	地方債	基金	その他	一般財源	
	【計画額】	1,264						1,264	
	【実績額】	361						361	
令和5年度の実施内容		町内在住のおおむね60歳以上を対象に各種講演会、軽スポーツ等を行った。 ① 開校式、講演会(7/6)：参加者50名 ② 役員研修(9/15)：参加者7名 ③ 県内日帰り研修(10/11)：参加者30名 ④ グラウンドゴルフ大会(2/9)：参加者43名 ⑤ ゲートボール大会(3/8)：参加者15名 ⑥ 閉校式(3/19)：参加者50名							
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容		当初値		目標値		現状値	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値
		登録受講者数		R2	130	R8	150	R5	195
説明	ここ数年はコロナの影響で事業の中止もしくは一部事業のみ実施となっていたが、令和5年度は4年ぶりに全事業実施することができ、年間を通してさまざまな取組を行い学が喜びと交流することの楽しさを味わう機会を提供できた。								

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	青少年わんぱく学校事業		
担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	小学生の豊かな個性と能力の伸長、集団の中での行動力等の醸成を助長する。又、自発的な中・高生の参加・協力を得ることによって、指導者的な立場で物事を考えられる力等を持った人材の育成を図る。			
事業内容	「友情、規律、連帯」の精神を基本として、学校・学年が違う小学生（中・高生を含めた入校生）に、学校や家庭などでは体験できないような活動の機会を年間を通じて提供する。			
実施年度	H19	～		
事業主体	町			
対象者	町内の小学・中学・高校生、保護者			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費	(単位：千円)					
			国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		2,000					400	1,600
【実績額】		1,377					123	1,254
令和5年度の具体的な実施内容		町内研修や、宿泊研修、スキー教室等、年間を通じて様々な体験活動を行った。						
成果	【 KPI 】 重 要 業 績 評 価 指 標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値
		年間参加者数（延べ人数）	R2	100	R8	120	R5	620
説明	町内研修や宿泊研修での体験を通じ、学校、学年が違う小学生の交流が図られた。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業		
担当課	生涯学習課	担当係	社会体育係

1 事業概要

総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	町民ニーズに沿ったスポーツ活動の機会や場を提供することにより、町民等の生きがいづくりや健康の維持・増進を図る。			
事業内容	総合型スポーツクラブ活動への支援を行う。また、平成30年度から総合型スポーツクラブを核とした地域スポーツハブ事業に取り組み、地域スポーツの推進を図る。			
実施年度	H19	～		
事業主体	町、NP0くぼかわSC、大正・十和SC			
対象者	町民、スポーツクラブ及び会員、地域スポーツ関係団体			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	2,041						2,041	
	【実績額】	2,021						2,021	
令和5年度の具体的な実施内容		くぼかわスポーツクラブ、大正・十和スポーツクラブへ補助金を交付し団体の活動の支援を行った。							
成果	【KPI】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		総合型地域スポーツクラブ加入率（対4月末人口）	R2	5	R8	5	R5	5	
	説明								
		補助金を交付することにより、スポーツクラブが行う自主事業の充実が図られ、生涯スポーツ振興に貢献した。							

3 評価結果

評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	各種文化講座等開催事業		
担当課	生涯学習課	担当係	文化振興係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	町民等の心身の健康維持・増進、教養の醸成、文化的な生活の向上を助長するとともに、生きがいのある文化的な町づくりを推進する。			
事業内容	時代や町民ニーズに配慮しながらも、生涯の各時期に必要な、又年齢や性別等にこだわらない多様な講座や講演会などを開催する。			
実施年度	H19	～		
事業主体	町			
対象者	町民及び町内に職場を有する者等			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		800					800
【実績額】		202					202
令和5年度の具体的な実施内容		子供から高齢者までを対象に、多様な学習機会となるよう教室等を実施した。 ①浴衣着付け教室 1回目(7/18)：5名 2回目(7/25)：5名 ②スマホ教室 1回目(5/20)：5名 2回目 8名(11/23) ③着物着付け講座 1回目(12/4)：9名 2回目(12/11)：8名 3回目(1/15)：8名 4回目(1/29)：5名 ④写真講座 1回目(3/9)：3名 ⑤親子パンづくり体験講座 1回目(9/24)：10名 2回目(12/17)：8名 3回目(3/10)：7名 ⑥陶芸教室 1回目(3/2)：14名					
成果	【KPI】重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度 数値
		講座等開催件数	R2	5	R8	5	R5 13
		受講者数	R2	100	R8	100	R5 95
	説明	浴衣着付け講座、スマートフォン講座、着物着付け講座、写真講座、親子パンづくり体験講座、陶芸講座の6種類、計13回実施し、町民に対して学習の場を提供することができた。					

3 評価結果			
評価結果	B 改善して継続		休廃止の時期
事業の課題	あらゆる年齢層を対象とした事業を目指していますが、青年・壮年層の参加者が少ない状況にある。		
改善の内容	他市町村の事例を参考にしながら、青年・壮年層が求める講座を開催する。		

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	文教施設設備整備・改修事業（きらら大正改修事業）		
担当課	大正地域振興課	担当係	企画産業係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	「きらら大正」は、災害時に2次避難所としての役割も有しているが、開館後30年近くが経過し、老朽化や耐用年数超過の設備も増えている。舞台音響や照明、吊物等の更新及び雨漏り防止や内外装の改修を行い、施設の長寿命化を図りながら有効活用をすすめる。			
事業内容	1994年（H6）築後、耐用年数が大幅に超過している設備の更新。（音響、舞台吊物、舞台照明、可動イス、空調 等）、及び建物本体の修繕・改修。			
実施年度	R元	～	R7	
事業主体	町			
対象者	町民等利用者			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		14,000		14,000			
【実績額】		3,797					3,797
令和5年度の具体的な実施内容		・トイレ修繕（1F北側男子トイレ） 139,700円 ・特殊建築物定期報告指摘事項改善工事 1,374,296円 （非常用照明取替、防火扉予備電池交換、外壁仕上り材剥れ補修） ・舞台照明設備部品交換修繕工事 605,000円 （調光器盤取替、調整、スポットライト交換等） ・自動火災報知器取替工事（受信機本体） 1,123,100円 ・大ホール、天井裏煙感知器取替工事 336,710円 ・事務室空調設備改修工事 217,800円 合計:3,796,606円					
成果	【KPI】 重要業績 評価指標	KPIの内容		当初値		目標値	
				年度	数値	年度	数値
		入館者数		R1	3,451	R7	4,000
		イベント開催数（一般対象）		R1	13	R7	20
	説明						
		・特殊建築物定期報告や、検査を委託している消防設備、舞台吊物設備、空調設備等の保守点検結果を基に、不良箇所や不具合なところは速やかに改善に努めている。 ・利用頻度の多い部屋や設備に優先順位を付け、計画的に修繕・改修を行っている。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	—
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	文化的施設整備事業		
担当課	生涯学習課	担当係	文化振興係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	平成30年度に策定した文化的施設に係る「基本構想」及び令和元年度に策定した「基本計画」に基づき、図書館・美術館・展示・コミュニティの4つの機能を持つ複合型の文化施設を整備することで、町民の課題解決に向けた支援や町の将来を担う子どもたちの育成などを図る。			
事業内容	町民の利用環境や美術品の収蔵環境などに課題を抱えることから、新たな施設を整備することとした図書館（本館）・美術館について、「展示」・「コミュニティ」機能を加えた複合型の文化施設として整備を行う。また、整備に合わせ、時代に合わせた機能の拡充も行う。			
実施年度	H19	～		
事業主体	町			
対象者	町民、来訪者			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		2,104,712		1,914,900	182,400		7,412
【実績額】		5,554					5,554
令和5年度の具体的な実施内容		付帯工事等の一部は実施したが、本体工事の請負契約締結議案が9月議会で否決されたため、事業は中止となった。					
成果	【KPI】 重要業績 評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度
		来訪者数（当初値は、図書館本館・美術館の来館者数）	R2	19,549	R8	40,000	R5
		貸出密度（人口一人当たりの貸出冊数）	R2	3	R8	4	R5
	説明						
		文化的施設整備事業の中止を決定した。					

3 評価結果			
評価結果	C 休廃止	休廃止の時期	
事業の課題	当該事業は中止としたが、既存施設が抱える諸課題は解決していない。		
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	文化的施設管理運営事業		
担当課	生涯学習課	担当係	文化振興係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	図書館・美術館・展示・コミュニティの4つの機能を持つ複合型の文化施設である「文化的施設」の管理運営を行う。施設が持つ4つの機能を活かし、町民の課題の解決に向けた支援や、町の将来を担う子どもたちの育成などを図る。			
事業内容	施設が持つ情報・レファレンスサービス・ネットワークなどを活かし、町民の課題解決の支援を行うとともに、新たな情報・技術の体験や想像／創造の体験、STEAM教育などを通じて、町の将来を担う子どもたちの育成を行う。また、施設の適正な維持管理を行う。			
実施年度	H19	～		
事業主体	町			
対象者	町民、来訪者			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費	(単位：千円)				
			国	県	地方債	基金	その他
		【計画額】					
	【実績額】	8,913				7,900	1,013
令和5年度の具体的な実施内容		本体、付帯工事を行う予定だったが、契約議案が9月議会で否決され建設が中止となったことから図書システムの導入のみを行った。					
成果	【KPI】重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度
		来訪者数（当初値は、図書館本館・美術館の来館者数）	R2	19,549	R8	40,000	R5
		貸出密度（人口一人当たりの貸出冊数）	R2	3	R8	4	R5
	説明						
		文化的施設整備事業の中止を決定した。					

3 評価結果			
評価結果	C 休廃止	休廃止の時期	令和5年度
事業の課題	当該事業は中止としたが、既存施設が抱える諸課題は解決していない。		
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	社会体育施設LED化事業		
担当課	生涯学習課	担当係	社会体育係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	体育の普及振興等を図り、町民の心身の健全な発達に寄与するための社会体育施設の機能維持と省エネ・CO2削減を目的として夜間照明のLED化を進めていく。			
事業内容	町内社会体育施設の夜間照明として使用されている水銀灯が生産中止となり、メーカー在庫で対応している状況である。今後の社会体育施設の機能維持と省エネ・CO2削減を目的とした照明器具のLED化を図っていく。			
実施年度	R4	～		
事業主体	町			
対象者	町民、施設利用者			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		1,000		1,000			
【実績額】							
令和5年度の具体的な実施内容		なし					
成果	【KPI】重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度 数値
		屋内社会体育施設の利用団体数（B&Gを除く）	R4	10	R8	10	R5 11
	説明						

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続		休廃止の時期
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	窪川運動場再整備事業		
担当課	生涯学習課	担当係	社会体育係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	窪川運動場は高知国体（2002）時に大規模整備と資機材整備が行われて以降20年あまり軽微な修繕等に対応してきたが、全体的な老朽化が進み通常使用にも支障をきたす状況となった為運動場内の再整備と資機材整備を行い、町民の社会体育活動の活性化を図っていく。			
事業内容	①野球場の再整備 ②スポーツトラクター等資機材の入れ替え ③窪川運動場の夜間照明のLED化			
実施年度	R4	～		
事業主体	町			
対象者	町民、施設利用者			

2 実施結果

事業費等内訳		事業費						(単位：千円)	
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源		
	【計画額】	500			500				
	【実績額】								
令和5年度の具体的な実施内容		なし							
成果	【 KPI 】 重 要 業 績 評 価 指 標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値		
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	
		定期利用団体数の維持	R6	9	R8	10	R5		8
	説 明								

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続	休廃止の時期	
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。

R6行政評価シート（事後評価用）

事業名	図書館十和分館整備事業		
担当課	十和地域振興局	担当係	町民生活係

1 事業概要				
総合振興計画における位置づけ	基本方針	生涯元気で郷土愛に満ちた人づくり		
	政策目標	生きがい・誇りを持てるまち		
	施策目標	芸術文化・生涯学習・スポーツの推進		
事業目的	町立図書館十和分館の整備に向けて検討する。			
事業内容	町立図書館十和分館の整備に向け、整備検討委員会を立ち上げ、十和分館の在り方とともに、立地や規模等の検討を行う。			
実施年度	R5	～		
事業主体	町			
対象者	町民			

2 実施結果							
事業費等内訳		事業費					
		(単位：千円)					
		国	県	地方債	基金	その他	一般財源
【計画額】		350					350
【実績額】		36					36
令和5年度の具体的な実施内容		四万十町立図書館十和分館整備検討委員会を設置し、計1回の委員会を開催し、十和分館の整備に向け検討を行った。					
成果	【KPI】 重要業績評価指標	KPIの内容	当初値		目標値		現状値
			年度	数値	年度	数値	年度 数値
		図書館十和分館の整備	R5	0棟	R10	1棟	R6 0棟
	説明						
		地域の小中学校PTA連絡協議会会員をはじめ、図書館協議会委員、十和まちづくり推進協議会委員等を含む委員で構成される四万十町立図書館十和分館整備検討委員会を設置した。第一回の委員会では、整備に向けてのロードマップ（長期・短期案）や整備に向けての課題を確認し、「図書館・読書」についての必要性や重要性を協議した。また、旧小鳩保育所を活用したサテライト貸出を運営する委員から取り組みや現状について話があり、図書館十和分館の1つの在り方としてイメージを共有できた。次回以降議題となる、立地や規模等の協議に向け検討を深めることができた。					

3 評価結果			
評価結果	A 現状のまま継続		休廃止の時期
事業の課題			
改善の内容			

※令和5年度版総合振興計画（実施計画）に掲げた事務事業の令和5年度の実績に対する評価です。